

市長マニフェストの進捗状況（令和3年10月現在）

○：実施・推進中
□：一部実施・推進中
△：検討、協議中

資料2

| マニフェストの項目 | | 取組状況 |
|-----------|-------------------------------|------|
| I | 新型コロナから市民のいのち、暮らし、しごとを守る。 | |
| | 1 徹底した感染防止対策と、経済対策とを両立させる。 | |
| | 1 新型コロナから市民のいのちを守ります。 | ○ |
| | 2 新型コロナから医療・介護・障害福祉従事者等を守ります。 | ○ |
| | 3 新型コロナから地域経済を守ります。 | ○ |
| | 4 コロナ後の地域経済ビジョンを策定します。 | ○ |
| | 5 市長給与を50%カットします。 | ○ |
| II | 鹿児島に移げる仕事をつくる。 | |
| | 2 コロナ後に対応できる、新しい産業・仕事をつくる。 | |
| | 6 中小企業振興を推進します。 | ○ |
| | 7 中小企業振興基本条例を制定します。 | ○ |
| | 8 積極的な起業支援 | ○ |
| | 9 戦略的な企業誘致に取り組みます。 | ○ |
| | 10 生産性を上げて、賃金を増やします。 | ○ |
| | 11 出身者は鹿児島市の宝！連携強化を進めます。 | ○ |
| | 12 スマート農業を強力に推進します。 | ○ |
| | 13 「移げる農業」実現へ、農地の有効活用を進めます。 | ○ |
| | 14 「移げる林業」づくりに取り組みます。 | ○ |
| | 15 「移げる水産業」づくりに取り組みます。 | ○ |
| | 16 鳥獣被害対策を進めます。 | □ |

| マニフェストの項目 | 取組状況 |
|--|------|
| 3 世界から観光客を集める・国際都市KAGOSHIMAをつくる。 | |
| 17 クルーズ船の経済効果を高めます。 | ○ |
| 18 市民総ぐるみで国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げます。 | ○ |
| 19 障害のある人も、ない人も、安心して周遊できる「ユニバーサルツーリズム」先進県をつくります。 | ○ |
| 20 ネットを活用した、多言語対応の観光誘客 | ○ |
| 21 鹿児島市在住経験外国人のネットワークを構築します。 | ○ |
| 22 インバウンド対応の人材育成 | ○ |
| 23 国際会議・各種大会の誘致を進めます。 | ○ |
| 24 イスラム教徒向け「ハラール」など、各地域に合った誘客を推進します。 | ○ |
| 25 体験型観光を進めます。 | ○ |
| 26 伝統的工芸品振興 | ○ |
| 27 鹿児島市を舞台としたコンテンツの制作振興 | ○ |
| 28 観光資源となる「稼げる」スタジアム整備 | ○ |
| 29 プロスポーツ等のホームゲームの盛り上がりをつくります。 | ○ |
| 30 スポーツ合宿の誘致 | ○ |
| 31 市電延伸の検討を進めます。 | ○ |
| 32 磯新駅の整備 | ○ |
| 33 水上交通の整備を検討します。 | ○ |
| 34 リバーサイドの整備 | △ |
| 35 eSportsの振興 | △ |
| 4 ICTを活用しもっと住みよい鹿児島をつくる。 | |
| 36 ICT関連産業振興に取り組みます。 | ○ |
| 37 新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。(DXの推進) | ○ |
| 38 行政手続のデジタル化を進めます。 | ○ |
| 39 テレワークを行う企業の誘致に取り組みます。 | △ |

| マニフェストの項目 | 取組状況 |
|-----------------------------------|------|
| Ⅲ 全ての人に、希望とチャンス。安心して生活できる鹿児島をつくる。 | |
| 5 安心できる子育て環境をつくる。 | |
| 40 待機児童ゼロを実現します。 | ○ |
| 41 保育士の確保策を講じます。 | ○ |
| 42 地域子育て支援センターの充実強化 | △ |
| 43 病児保育体制の整備 | △ |
| 44 児童相談所の早期整備と機能充実 | ○ |
| 45 こども医療費の負担軽減 | ○ |
| 46 子どもを産み・育てる親に寄り添う取り組みを進めます。 | ○ |
| 47 「貧困の連鎖」を防ぐために取り組みます。 | ○ |
| 48 発達障害の療育支援を行います。 | ○ |
| 49 スクールロイヤールの導入を図ります。 | △ |
| 50 通学路の安全確保 | ○ |
| 6 稼げる力。「たくましい鹿児島の子」をつくる。 | |
| 51 キャリア教育の充実を図ります。 | ○ |
| 52 IT関連教育を推進します。 | ○ |
| 53 教育に、IT・インターネットを積極的に活用します。 | ○ |
| 54 青少年の海外派遣、留学支援を広く行います。 | □ |
| 55 「外国人の友達を作ろう！」 | ○ |
| 56 市立高校の振興と環境整備を図ります。 | ○ |
| 7 人生100年時代。「持続可能な」生きがいにあふれる福祉。 | |
| 57 疾病予防・介護予防の促進 | ○ |
| 58 健康診断受診率を向上させます。 | ○ |
| 59 認知症を早期発見・早期治療できる仕組みを整備します。 | □ |
| 60 重度心身障害者等医療費制度の手続を簡素化します。 | △ |
| 61 障害者就労施設等への発注 | ○ |
| 62 手話言語条例の制定 | △ |
| 63 バリアフリー化の推進 | ○ |
| 64 高齢者の生きがい就労 | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組状況 |
|---------------------------------|------|
| IV 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる。 | |
| 8 「持続可能」なまちづくり。「持続可能」なくみづくり。 | |
| 65 「持続可能性」を重視しSDGsの取り組みを進めます。 | ○ |
| 66 環境と調和した再生可能エネルギーの開発・活用を進めます。 | ○ |
| 67 避難所等における再生可能エネルギーの活用 | △ |
| 68 リサイクルの促進 | ○ |
| 69 公共交通機関の利便性向上 | ○ |
| 70 在来線の利用促進を図ります。 | ○ |
| 71 空き家の有効活用を進めます。 | ○ |
| 72 既存集落の過疎化対策に取り組みます。 | ○ |
| 73 計画的なインフラ補修 | ○ |
| 9 現在そして将来の課題に今から対応できる鹿児島をつくる。 | |
| 74 動物殺処分ゼロを目指します。 | ○ |
| 75 同性パートナーシップ | ○ |
| 76 合併地域の均衡ある発展に向けた取り組み | △ |
| 77 様々な状況に合わせた、避難所の質の確保 | ○ |
| 78 学校のトイレ洋式化 | ○ |
| 79 新たな総合体育館に関する連携・協力 | △ |
| 80 地籍調査を強力に推進します。 | ○ |
| 81 団地再生を推進します。 | ○ |
| 82 洪水ハザードマップの整備 | ○ |
| 83 公文書管理条例を制定します。 | ○ |
| 84 男女共同参画を推進します。 | ○ |
| 85 防災会議の機能をより高め、市民の生命と財産を守ります。 | ○ |
| 86 土地区画整理事業の推進 | ○ |
| 87 多文化共生社会の構築 | ○ |
| 88 投票率向上に取り組みます | □ |

| マニフェストの項目 | 取組状況 |
|---------------------------------------|------------------------------|
| 10 新しい時代。民間のチカラを活かし、“これから”の鹿児島市政をつくる。 | |
| 89 データに基づく政策立案（EBPM）を推進します | ○ |
| 90 事業の見直しを進めます | ○ |
| 91 政策評価を充実させます。 | ○ |
| 92 公契約の適正化を進めます。 | ○ |
| 93 民間との公平な競争環境 | ○ |
| 94 ふるさと納税を集める取り組みを進めます。 | ○ |
| 95 ネーミングライツ等の積極的活用 | ○ |
| 96 市政の情報公開を進めます。 | ○ |
| 97 市民の声を聞く機会を増やします。 | ○ |
| 98 鹿児島市内全域で、市政報告会を開催します。 | ○ |
| 99 官民連携プラットフォーム | ○ |
| 100 民間人材の積極的登用 | ○ |
| 合計（100項目） | ○（85項目） □（4項目） △（11項目） |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|--|---|------|
| I 新型コロナから市民のいのち、暮らし、しごとを守る。 | | | |
| 1 徹底した感染防止対策と、経済対策とを両立させる。 | | | |
| <p>新型コロナから市民のいのちを守ります。</p> <p>1 PCR検査体制の拡充、診療体制・病床の確保など、新型コロナから市民のいのちを守り安心できる仕組みをつくりまします。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・県が担っているPCR検査拡充の取り組みについて、情報共有を図り連携 ・重症・中等症患者に加え、妊婦や親子感染者にも対応できるよう、3年8月23日から20床拡充して42床とした。（3年10月4日までの取組） ・新型コロナウイルス感染症対策や対面規制の見直しとして、相談等業務のオンライン化を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・保健支援課では、3年7月からオンライン相談を開始 ・国民健康保険課では、9月末からオンライン相談を開始 ・市民相談センター、消費生活センターでは、8月から電話受付時に案内開始 ・すこやか子育て交流館(りぼんかん)については、運用準備中で11月開始予定 ・新型コロナウイルス感染症対策として、窓口音声認識システムを3年8月に長寿支援課・障害福祉課に設置 ・新型コロナウイルス等の感染防止のため、子育て支援施設等において、マスク等衛生用品の備蓄を実施 ・保育所等に対し、職員の感染症対策に必要な経費のほか、感染症対策に要する備品等の購入や保育所等の消毒に必要な経費を補助 ・新型コロナウイルス感染症の対策として、感染した妊産婦へ電話や訪問等による相談や分娩前のPCR検査の費用助成など、不安を抱える妊産婦への支援を実施 ・新型コロナウイルス感染症拡大により活動自粛等を行っている子ども食堂の活動を支援し、子育て家庭の負担軽減及び地域経済の活性化を図るため、「かごしまこども食堂・地域食堂ネットワーク」が市内の子ども食堂を通じて、子どもや家庭に対し提携飲食店で使えるチケットを配布する取組に対し助成 ・健診等の受診促進や保健指導の拡充など切れ目ない支援の充実を図るため、乳幼児の成長記録等のデジタル管理や子育て等に関する情報が取得できる母子健康手帳アプリを3年9月1日に導入 ・国の特別定額給付金の基準日の翌日以降、3年4月1日までに生まれた子どもの育児を支援するため、市独自の育児応援金を支給 ・ワクチン接種の実施 ・鹿児島市感染症対策医療機関協議会（仮称）の設置、感染管理講演会の開催、感染症対応実務研修会の開催 ・インターネットを通じた電子書籍の検索・貸出等が可能な電子図書館サービスを4年2月に運用開始（予定） ・経済的困窮など生活上の困りごとや不安を抱える市民に対し、相談支援を実施 ・住居を喪失する離職者及びやむを得ない休業者に対して住居確保給付金を支給 ・衛生用品等の購入で感染症対策を図り、新生児・妊産婦へ訪問による保健指導を実施 ・産後の母親に必要な情報を掲載したパンフレットを作成し、産後入院中の母親に配付 ・新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に、母子生活支援施設へ衛生用品を配付 | <p>感染症予防医療事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の即応病床の拡充</p> <p>相談等業務オンライン化推進事業</p> <p>（再）行政デジタル化推進事業</p> <p>地域子ども・子育て支援施設コロナ対策事業</p> <p>保育所等感染予防対策充実事業</p> <p>妊産婦寄り添い支援事業</p> <p>地域の飲食店子ども食堂プロジェクト事業</p> <p>母子健康手帳アプリ導入事業</p> <p>育児応援金支給事業</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種事業</p> <p>感染症に強いまちづくり推進事業</p> <p>電子図書館サービス導入事業</p> <p>生活困窮者自立支援事業</p> <p>（再）新生児・妊産婦訪問指導事業</p> <p>（再）婦人相談員設置事業</p> | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|--|-------------------------|------|
| <p>新型コロナから市民のいのちを守ります。</p> <p>1 PCR検査体制の拡充、診療体制・病床の確保など、新型コロナから市民のいのちを守り安心できる仕組みをつくりまします。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの患者等に対する疫学調査、接触者等への健康診断勧告、入院勧告、就業制限等を実施 | 感染症予防医療事業 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所における感染症対策の取組促進のため、感染予防の実践を喚起する啓発用ポスターを作成・配布 | 感染症予防啓発事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催 | 新型インフルエンザ等対策行動計画推進事業 | |
| <p>新型コロナから医療・介護・障害福祉従事者を守ります。</p> <p>2 新型コロナから医療や介護、障害福祉サービス等の従事者を守るため、必要な取り組みを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・医療従事者等のワクチン優先接種の実施 | 新型コロナウイルスワクチン接種事業 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省より配布された衛生用品を事業所等に配布 ・新型コロナウイルス感染症が発生した事業所等へ厚生労働省より配布された衛生用品の配布を実施 ・事業所等へ感染防止対策の周知 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者または職員に感染者が発生した事業所等がサービスを継続して提供できるよう、通常のサービス提供時では想定されないかかり増し経費に対し支援を実施 ・新型コロナウイルス感染症が発生した事業所等へ衛生用品の配布を実施 ・感染症管理認定看護師等による、事業所等の感染防止対策のための医学的な相談・支援などの事業を実施 | 障害福祉サービス事業所等感染症対策支援事業 | |
| <p>新型コロナから地域経済を守ります。</p> <p>3 新型コロナで特に大きな影響を受けている業種に対し、実効的な需要喚起策を行うとともに、安心して利用できるために必要な取り組みを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大を防止しながら地域経済の回復を図るため、関係団体等の意見を伺い、施策に反映させるための会議を3年7月に開催 | コロナ対策関係者会議経費 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・大きな影響を受けている飲食店を支援するとともに、地域における消費の喚起・下支えを行うため、市内飲食店の利用に対しプレミアムポイントを付与 | プレミアムポイント事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の中小企業者等の商品販売やサービス、店舗のPRを図るため、EC（電子商取引）サイト・ホームページの立ち上げ等に対する助成を実施（53件補助決定（9月末現在）） | ECサイト・ホームページ導入等支援事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・県による飲食店への営業時間短縮要請の延長に伴い、要請に応じた事業者に対して、県と連携し、協力金を支給（延べ6,297件（9月24日現在）） | 新型コロナウイルス感染症対策時短要請協力金事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・県による飲食店への営業時間短縮要請等に伴い、特に大きな影響を受けているタクシー事業者及び自動車運転代行業者の事業継続を下支えするため、支援金を給付（1,369件（9月末現在）） | タクシー事業者及び自動車運転代行業者支援金事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・県による飲食店への営業時間短縮要請等に伴い、売上が減少し家賃の負担が重くなっている中小企業者等の事業継続を下支えするため、支援金を給付（420件（9月末現在）） | 家賃支援金事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者等における従業員の雇用維持を図るため、国の雇用調整助成金と協調して市独自の支援金を支給（1,078件（9月末現在）） | 雇用維持支援金事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における観光振興策として、体験型観光メニューの充実を促進するため、市民モニターを対象にお試しクーポンを発行 | かごしまワクワク体験推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナを見据え、既存データを基礎とする分析や専門家及び実務担当者の意見聴取、利便性や多様性に関する本市の現状把握を実施 ・それらを踏まえ、本市取組の方向性の整理を行う | (再) 海外観光客特性・ニーズ調査・対応事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・先進事例調査や観光事業者を対象とするセミナーの開催、本市の宿泊施設や飲食施設等の現状把握を実施 ・それらを踏まえ、本市取組の方向性の整理を行う | (再) ユニバーサルツーリズム現況調査事業 | |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|--|------------------------|------|
| <p>新型コロナから地域経済を守ります。</p> <p>3 新型コロナで特に大きな影響を受けている業種に対し、実効的な需要喚起策を行うとともに、安心して利用できるために必要な取り組みを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・国のGo To トラベルや県の宿泊クーポンの状況や、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、実施時期について検討中 | 県外観光客宿泊キャンペーン事業 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の宿泊施設及び貸切バス事業者等の新型コロナ感染症の衛生対策強化に係る取組を支援 申請 37件（補助額：7,166,000円）（9月末現在） | 宿泊施設等新型コロナ対策支援補助金 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における観光振興策として、宿泊施設と体験型観光メニューや着地型ツアー等が連携した新たなビジネスを支援 申請 6件（補助額：4,988,000円）（9/30現在） | 宿泊施設新観光ビジネス支援補助金 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、海外観光客に対応するためのスタッフ研修やオンライン観光等の取組を支援 オンライン観光支援補助金 申請4件（補助額：1,084,000円）（9/30現在） | 外国人観光客受入事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における本市の観光情報発信に助成 | 鹿児島市版DMO推進補助金 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における修学旅行誘致策として誘致補助金の交付や、観光施設等の利用料無料化を実施中 | 修学旅行誘致事業（観光施設等利用料無料化等） | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における新たな視点での観光プロジェクトを各面から展開することにより、当面の観光振興を図るとともに、コロナ収束後の需要回復を見据えた観光メニューの充実につなげた。 かごしまワクワク体験推進（わくわく一ぽん発行：102の体験メニューを創出） 市民モニターへのお試しクーポンの発行により、当面の観光振興を図るとともに、モニター意見などニーズの把握・分析及び体験事業者との成果の共有を図ることにより、体験型メニューの充実を促進 マイクロツーリズムモニターツアー（23ツアーを実施） 新たな生活様式を踏まえながらマイクロツーリズムの観点からモニターツアーを実施 オンライン観光支援（31事業者を支援） オンライン旅行等のインターネットを活用した観光の取組を実施する民間事業者を支援 | Withコロナ新観光プロジェクト事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「鹿児島ユナイテッドFC」のホームゲームにおける新型コロナウイルス感染防止対策や、新しい生活様式への対応に係る費用の補助を実施 | （再）鹿児島ユナイテッドFC活動支援事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「鹿児島レブナイズ」のホームゲームにおける新型コロナウイルス感染防止対策や、新しい生活様式への対応に係る費用の補助を実施 | （再）鹿児島レブナイズ活動支援事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者の円滑な資金調達を促進するため、信用保証料の補助や、県信用保証協会に対する損失補償等を実施 | （再）中小企業資金融資事業 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響による「新しい生活様式」等への対応を図るため、オンライン移住相談やIU倶楽部会員特典サービス制度、移住奨励金の交付を実施 | かごしま移住支援・プロモーション事業 | | |
| <p>4 <u>コロナ後の地域経済ビジョンを策定します。</u> 民間事業者や専門家の知見も活用し、コロナ後の地域経済ビジョンを策定します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの感染・収束状況を見極めながら、アフターコロナにおいて重点的に取り組むべき方向性をとりまとめる ・4年3月策定（予定） | 地域経済ビジョン策定に向けた取組 | ○ |
| <p>5 <u>市長給与を50%カットします。</u> 新型コロナで厳しい状況にある市民の皆様とともに歩み、新型コロナ対策の先頭に立つ姿勢を示すとともに、新型コロナ対策の財源に充てるため、自らの給与を50%カットします。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・3年第1回市議会定例会に、市長の給料の特例に関する条例制定案を提出。議決後、3年4月から市長給与（期末手当含む）の50%減額を実施（～4年3月まで） | 市長の給料の特例に関する条例の制定 | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|---|--|------|
| II 鹿児島に稼げる仕事をつくる。 | | | |
| 2 コロナ後に対応できる、新しい産業・仕事をつくる。 | | | |
| <p>中小企業振興を推進します。</p> <p>6 地域の雇用の重要な受け皿である中小企業について、人材の育成・確保、資金供給の円滑化、新分野への進出支援、事業承継の支援など、総合的に振興策を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・就職氷河期世代の方を対象に、正規雇用を目指すためのキャリアアップセミナーを実施 ・商工業の振興を図るため、商工業振興プランの進行管理を実施 ・コロナ後を見据えた次期プランの策定、パブリックコメント実施中 ・次期プランを4年3月策定（予定） ・新たな事業展開に取り組む市内企業に対する、補助金の交付を通じた事業化支援（2件） ・中小企業者の円滑な資金調達を促進するため、信用保証料の補助や、県信用保証協会に対する損失補償等を実施 ・ものづくり分野の技能承継、技術力向上等を図るとともに、市内事業所の人材育成を支援するため、職業訓練センターで実施される職業訓練に要する経費を助成 ・連携中枢都市圏を形成する4市で合同企業説明会を開催（予定） ・障害者等を雇用した事業主に対し、国の特定求職者雇用開発助成金と協調して市単独の奨励金を支給（110件（9月末現在）） ・若年者等を雇用した事業主に対し、国のトライアル雇用助成金と協調して市単独の支援金を支給（7件（9月末現在）） ・東京23区に在住または通勤していた方が、鹿児島市内に移住し、中小企業等に就業、起業またはテレワークを行っている場合に、移住支援金を支給（4件（9月末現在）） | <p>就職氷河期世代活躍支援事業</p> <p>商工業振興プラン推進事業</p> <p>新産業創出支援事業</p> <p>中小企業資金融資事業</p> <p>ものづくり職人育成支援事業補助金</p> <p>連携中枢都市圏合同企業説明会開催事業</p> <p>就職困難者等雇用促進助成事業</p> <p>若年者等雇用促進助成事業</p> <p>移住・就業等支援事業</p> | ○ |
| <p>中小企業振興基本条例を制定します。</p> <p>7 地域経済における中小企業の重要性や、今後行うべき包括的な中小企業振興施策の位置付けを明確にするため、中小企業振興基本条例（仮称）を制定します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント実施中 ・4年3月制定（予定） | <p>中小企業振興基本条例制定に向けた取組</p> | ○ |
| <p>積極的な起業支援</p> <p>8 起業に必要なことを学ぶセミナーの拡充、手続の簡略化、制度融資の充実、大学等研究機関との連携強化ならびに紹介など、起業支援を推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ソーホーかごしま入居者の支援 ・ソーホーかごしま入居者間の連携を促進する連絡会の実施（3年4月） ・ソーシャルビジネス事業者等に対する相談支援 ・インキュベーションマネージャー配置による相談支援 ・創業スキル養成講座（基礎編・実践編）の開催 ・女性対象起業セミナー（3年1月）、シニア対象起業セミナー（3年2月）の開催 ・起業関連セミナーの開催（予定） ・中小企業者の円滑な資金調達を促進するため、信用保証料の補助や、県信用保証協会に対する損失補償等を実施 ・創業期の経営安定と事業の健全な発展を支援するため、創業支援資金を利用した事業者に対する利子補給を実施 ・少人数制産学マッチングイベントの実施（2年10月～3年1月） | <p>ソーホーかごしま管理運営事業</p> <p>ソーシャルビジネス促進事業</p> <p>新規創業者等育成支援事業</p> <p>女性・学生・シニア起業チャレンジ支援事業</p> <p>（再）クリエイティブ産業創出拠点施設企画運営事業</p> <p>（再）中小企業資金融資事業</p> <p>新規開業支援利子補給金交付事業</p> <p>（再）新産業創出支援事業</p> | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|--|--|------|
| <p><u>戦略的な企業誘致に取り組みます。</u></p> <p>9 立地企業側のニーズと鹿児島市の強み・特徴を分析したうえで、民間の知見・つながりを生かした戦略的な企業誘致・留置に取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問活動や展示会への出展（予定）、PR活動等の実施（3年1月以降の立地協定5件） | 企業立地推進事業 | ○ |
| <p><u>生産性を上げて、賃金を増やします。</u></p> <p>10 サービス業を中心に、ICT等を活用した生産性向上の取り組みを支援するとともに、先進事例を市内全域に普及する取り組みを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市内の中小企業者等の商品販売やサービス、店舗のPRを図るため、EC（電子商取引）サイト・ホームページの立ち上げ等に対する助成を実施（53件補助決定（9月末現在）） ・中小企業（製造業者等）の知的財産権取得や販路開拓等に対する経費の補助を実施（13件補助決定（9月末現在）） ・生産性向上に係る先進事例を普及するため、市内の中小企業者向けにセミナーを開催 | <p>（再）ECサイト・ホームページ導入等支援事業</p> <p>「メイドインかごしま」支援事業</p> <p>（再）ECサイト・ホームページ導入等支援事業</p> | ○ |
| <p><u>出身者は鹿児島市の宝！連携強化を進めます。</u></p> <p>11 市外在住の鹿児島市出身者との連携を強化し、周囲の方々に特産品や観光のPRを行って頂ける取り組みを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・出身者を含む首都圏在住者を対象に、本市の今を知り、魅力等を学び、市民と交流しながら継続的な関わり方を探る関係人口創出講座をオンラインで実施 ・実参加人数 計47人 ・首都圏在住の鹿児島ゆかりの方々に、鹿児島市政やまちづくりの現状、新たな観光の魅力等について市長自ら説明することで、本市のPRや都市間交流の推進を図るため、3年8月31日に市政報告会を実施（初めてのオンライン配信による市政報告） ・委嘱した9名のふるさと大使が本市をPR | <p>かごしま”自分ごと”発見・体験講座</p> <p>市政報告会開催事業</p> <p>鹿児島市ふるさと大使設置事業</p> | ○ |
| <p><u>スマート農業を強力的に推進します。</u></p> <p>12 「稼げる農業」実現のため、最先端のICTを活用した「スマート農業」を強力的に推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・畜産クラスター事業において、畜産ICT機器の導入を支援 ・熟練農家の野菜栽培環境のデータを収集するため、農家圃場に機材を設置 ・比較試験のため都市農業センター圃場にも機材を設置しデータを収集 | <p>畜産クラスター強化支援事業</p> <p>農業技術伝承事業</p> | ○ |
| <p><u>「稼げる農業」実現へ、農地の有効活用を進めます。</u></p> <p>13 「稼げる農業」実現へ向け耕作放棄地化を防ぐとともに、農地の有効活用を進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・第2期農林水産業振興プランの進行管理の実施 ・次期農林水産振興プランの策定（4年3月予定） ・地域における話し合い活動を促進 ・中山間地域等直接支払交付金による支援 ・農業振興地域整備計画の一般管理の実施 ・市内産農林水産物を活用した加工品開発に関する経費に対する助成 ・6次産業化に関する研修会の実施 ・農地利用の集積・集約化を図るため、農地中間管理機構の活用等を進めるとともに、農地の利用状況調査や所有者等への意向調査等の実施 ・担い手等への農用地の利用の集積及び高齢等の事情で耕作できない農地所有者の農地の有効利用の促進 ・遊休農地の調査及び活用方法について検討 ・遊休農地バンクにより、耕作放棄地に関する情報を県内外へ提供 ・よみがえれ農地事業により、遊休化した農地の再生利用を推進 ・農地の流動化や市民農園により、農地の遊休化を防止 ・地域農業の維持発展に必要な既存の農業用施設の整備を支援 ・生産基盤施設や生活環境施設の総合的な整備の実施 ・園芸作物の生産安定と品質向上を図るため、園芸施設等の整備を支援 ・降灰被害の防止・軽減を図るため、土壌改良資材の導入や防災営農施設等の整備を支援 | <p>農村振興対策事業</p> <p>6次産業化推進事業</p> <p>農地利用最適化推進事業</p> <p>農地銀行事業</p> <p>遊休農地活用推進事業</p> <p>次世代農業担い手サポート事業</p> <p>土地改良事業（農業生産基盤の整備）</p> <p>園芸振興事業</p> <p>降灰地域防災営農対策事業</p> | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|--|---|------|
| <p>「稼げる林業」づくりに取り組みます。</p> <p>木材がより高く売れ、木材関連産業従事者の所得が増える様、高付加価値化や輸出に必要な環境整備に取り組みます。シイタケ、タケノコなどの特用林産物の生産拡大、竹の活用にも力を入れ、「稼げる林業」の実現に向け取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度を推進し、適切な森林管理の実施 ・木材生産の低コスト化を図るため、高性能林業機械の活用に対し助成 ・森林の持つ水源かん養や木材生産の安定供給など、多面的機能維持向上を図るため、間伐等に対し助成し、また、木材の高付加価値化を図るため、プレカット加工施設等の整備に対し助成 ・木材の輸送コストの低減を図り、輸出に必要な環境整備にも寄与するため、林道の整備や維持管理を実施 ・特用林産物生産拡大等を図るため、特用林産物（たけのこ等）や竹材を生産する、竹林の改良や管理路の整備等に助成 | <p>森林経営管理推進事業</p> <p>森林資源整備事業</p> <p>林道整備事業 林道管理事業</p> <p>特用林産振興事業</p> | ○ |
| <p>「稼げる水産業」づくりに取り組みます。</p> <p>体験型も含めた観光化の取り組みや、鹿児島県の魅力の魅力を漁業者から直接伝えることのできる機会づくりなど、魚食の普及も含め、稼げる水産業づくりを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における観光振興策として、体験型観光メニューの充実を促進するため、市民モニターを対象にお試しクーポンを発行 ・漁業経営の安定を図るため、漁協が実施する漁業施設の整備に対し助成 ・令和3年5月6日に錦江湾奥会議開催 ・ブルーツーリズムをテーマに招聘、キャンペーン等を実施予定 ・多くの観光客や市民に美味のまち鹿児島を体感し、楽しんでもらうため、食などの地域資源を生かした民間主催のイベントを支援 ・海と食の地域モデルin鹿児島（実施決定） 他 ・3年10月に漁業体験イベントを実施 ・市場関係者と市で構成する「いお・かごしま魚食普及拡大推進協議会」で魚食普及に係る各種イベントを開催 ・各種商談会への参加・輸出促進に係る調査・国内外バイヤーを招へい | <p>（再）かごしまワクワク体験推進事業</p> <p>漁業施設整備支援事業</p> <p>広域観光連携事業（錦江湾奥会議）</p> <p>“美味のまち鹿児島”づくりイベント支援事業</p> <p>（再）グリーン・ツーリズム推進事業</p> <p>魚類市場活性化推進事業</p> <p>魚類市場輸出拠点構築推進事業</p> | ○ |
| <p>鳥獣被害対策を進めます。</p> <p>16 シカやイノシシなどの鳥獣被害を軽減するための取り組みを進めます。またジビエ料理普及の取り組みを支援します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣による農作物等への被害を防止するため、電気柵等の導入や有害鳥獣捕獲活動に対し支援するとともに、鳥獣を寄せ付けない集落ぐるみでの取組を推進 ・ジビエ料理普及の取組支援については、他都市事例等の調査・検討中 | <p>有害鳥獣被害対策事業</p> | □ |
| <p>3 世界から観光客を集める・国際都市KAGOSHIMAをつくる。</p> | | | |
| <p>クルーズ船の経済効果を高めます。</p> <p>17 クルーズ船で鹿児島を訪れる観光客が、鹿児島の食や伝統工芸など魅力を体感し、もっと地元への経済効果を高める環境整備を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島港における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを作成 ・地元への経済効果を高める環境整備に向け、コロナ後の寄港再開を見据えて、新たな寄港地ツアーにつながる観光素材の発掘や体験型観光メニューの磨き上げを実施 | <p>クルーズ船誘致・受入事業</p> <p>（再）かごしまワクワク体験推進事業</p> | ○ |
| <p>市民総ぐるみで国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げます。</p> <p>18 2023年の国体・全国障害者スポーツ大会を、市民みんなで盛り上げるため取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNSを活用し、市民等に対して両大会に関する情報を発信 ・両大会の5年度開催をPRするため、3年1月に「NEW START for 2023」イベントを開催 ・両大会延期に伴い使用できなくなった物品を市民とリメイクする活動を推進し、展示イベントの開催や、競技会場での掲出を行うなど市民と一緒に両大会開催をPR ・実行委員会で策定した開催運営基本方針の基本目標の一つに「市民みんなで一緒になった取組の推進」を盛り込み、今後具体的な取組を検討 ・両大会をPRするため、3年9月に松陽高校美術科制作の黒板アートを取り入れたPR動画「Re:RISE」を公開 ・特別国体の本市開催運営基本理念「温もり つなぐ 特別国民体育大会」を具体化し、効果的に両大会をPRするため、3年9月にロゴマークをリニューアル | <p>特別国民体育大会等準備事業</p> | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|---|---|------|
| <p>19 <u>障害のある人も、ない人も、安心して周遊できる「ユニバーサルツーリズム」先進県をつくりま</u> <u>す。</u> 2023年の全国障害者スポーツ大会を良い契機として、障害のある人も、ない人も、安心して周遊できる「ユニバーサルツーリズム」先進地をつくりま</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・先進事例調査や観光事業者を対象とするセミナーの開催、本市の宿泊施設や飲食施設等の現状把握を実施 ・それらを踏まえ、本市取組の方向性の整理を行う | ユニバーサルツーリズム現況調査事業 | ○ |
| <p><u>ネットを活用した、多言語対応の観光誘客</u> 20 多言語対応の観光マップ、アプリ等を整備することで、より多くの国・言語の観光客が安心して周遊できる環境を整備します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレット等を県内外に配布（英語、繁体語、簡体語、韓国語） ・観光DX推進の一環として、観光CRMアプリを活用した地域マーケティングにより、顧客満足度向上を図り、リピーター確保を進めるなど、持続的に観光地として磨き上げていく仕組みの構築に向けて実証実験を実施 ・外国人観光客等の利便性の向上を図るため、かごしま水族館と平川動物公園の展示及び観光オブジェ「時標」の多言語解説動画等を観光客がモバイル端末で動画等を視聴できるサービスを提供 ・既存データを基礎とする分析や専門家及び実務担当者の意見聴取、利便性や多様性に関する本市の現状把握を実施 ・それらを踏まえ、本市取組の方向性の整理を行う ・コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、海外観光客に対応するためのスタッフ研修やオンライン観光等の取組を支援 ・コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、コンベンション協会が進めるマーケティングリサーチの強化やWEBプラットフォームの認知度向上の取組等に助成 ※かごしま市観光ナビでの情報発信（英語・繁体字・簡体字・韓国語） ※画像を活用したデジタルプロモーション（英語・繁体字・簡体字・韓国語） | <p>観光印刷物等活用宣伝事業</p> <p>稼ぐ観光パワーアップ実証実験事業</p> <p>観光施設維持管理費 かごしま水族館管理運営事業 平川動物公園管理運営事業</p> <p>（再）海外観光客特性・ニーズ調査・対応事業</p> <p>（再）外国人観光客受入事業</p> <p>（再）鹿児島市版DMO推進補助金</p> | ○ |
| <p>21 <u>鹿児島市在住経験外国人のネットワークを構築し</u> <u>ます。</u> 鹿児島市在住後帰国した外国人の方々と、継続したネットワークを構築します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本市に滞在した外国人（留学生、ALT等）との間に培われた友好の絆を帰国後も持続させるため、フレンドシップパートナーとして委嘱 ・3年3月に5名、7月に7名を委嘱 | 外国人留学生等との交流事業 （フレンドシップパートナー事業） | ○ |
| <p>22 <u>インバウンド対応の人材育成</u> 海外からの観光客誘客に対応できる人材育成を進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、海外観光客に対応するためのスタッフ研修やオンライン観光等の取組を支援 ・コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、外国人観光客対応人材向けの研修を実施 | <p>（再）外国人観光客受入事業</p> <p>（再）鹿児島市版DMO推進補助金</p> | ○ |
| <p>23 <u>国際会議・各種大会の誘致を進めます。</u> 国際会議や各種大会（全国大会など）の誘致へ向け、補助金の創設、誘致に向けた立候補の支援など、積極的な支援を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島観光コンベンション協会が「MICE誘致戦略プラン」に基づき、MICE開催を推進しており、当協会に対して助成 | M I C E 推進補助金 | ○ |
| <p>24 <u>イスラム教徒向け「ハラール」など、各地域に合った誘客を推進します。</u> イスラム市場向けの「ハラール」対応など、各国・地域の特徴・ニーズに合わせた形での誘客を推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・既存データを基礎とする分析や専門家及び実務担当者の意見聴取、利便性や多様性に関する本市の現状把握を実施 ・それらを踏まえ、本市取組の方向性の整理を行う ・コロナ収束後の観光需要回復を見据えて、コンベンション協会が進めるマーケティングリサーチの強化やWEBプラットフォームの認知度向上の取組等に助成 | <p>海外観光客特性・ニーズ調査・対応事業</p> <p>（再）鹿児島市版DMO推進補助金</p> | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|---|-------------------------------------|------|
| <p>25 <u>体験型観光を進めます。</u></p> <p>農業体験や農家民泊（グリーンツーリズム）、漁業体験（ブルーツーリズム）など体験型観光、修学旅行の誘致に向けた環境整備を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における観光振興策として、宿泊施設と体験型観光メニューや着地型ツアー等が連携した新たなビジネスを支援 申請 6件（補助額：4,988,000円）（9月末現在） | （再）宿泊施設新観光ビジネス支援補助金 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における観光振興策として、体験型観光メニューの充実を促進するため、市民モニターを対象にお試しクーポンを発行 | （再）かごしまワクワク体験推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム、ツアーの実施及び情報発信 ・体験プログラムの新規作成 | 桜島・錦江湾ジオパーク推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・4年3月第3期グリーン・ツーリズム推進計画の策定（予定） | 第3期グリーン・ツーリズム推進計画策定事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・市民に安全で快適な海釣りの場及び海上の憩いの場を提供 ・初心者釣り教室など釣りに関するイベントの開催 | 海づり公園管理事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島ぶらりまち歩き13コース、主要観光地10か所での観光地ガイドの実施を行う観光コンベンション協会に対し助成 | 鹿児島ぶらりまち歩き推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・農作業体験学習の実施 ・3年10月漁業体験イベントの実施 ・3年10・11・12月日帰り体験ツアー実施（予定） | グリーン・ツーリズム推進事業 | |
| <p>26 <u>伝統的工芸品振興</u></p> <p>大島紬、薩摩焼などの伝統的工芸品について、その魅力に触れ、物語を知るための機会を増やします。また市民向けに、実際に触れる機会、そして背景にある由来などの物語を知る機会を増やし、まずは自分たちが魅力を知る取り組みを支援します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品産業（大島紬・竹）業者等に作業場（大島紬締機センター・大島紬のり張りセンター・竹産業振興センター）を提供 ・伝統的工芸品産業の産地組合とともに講座等を開催 | 伝統的工芸産業の振興 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品産業の産地組合が行う活路開拓に対する経費の補助などを実施 | 伝統的工芸産業の活路開拓支援事業 | |
| <p>27 <u>鹿児島市を舞台としたコンテンツの制作振興</u></p> <p>鹿児島市を舞台としたコンテンツ（映画、アニメ、マンガ、ゲームなど）をより多く作って頂くため、全面的に取り組むを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・映像制作者への情報提供、撮影許可申請手続き等の支援 | 映画撮影等誘致支援事業 | ○ |
| <p>28 <u>観光資源となる「稼げる」スタジアム整備</u></p> <p>世界に「KAGOSHIMA」の名前をPRし、観光都市としての観光資源となり、複合的な施設として「稼げる」スタジアム整備へ取り組みを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本市にふさわしい「稼げる」スタジアム像の調査分析業務の実施（3年度） ・スタジアム像について市民等との共有を図るためのシンポジウムの開催（3年度） | サッカー等スタジアム整備検討事業 | ○ |
| <p>29 <u>プロスポーツ等のホームゲームの盛り上がりをつくり出します。</u></p> <p>市の施設を利用したホームゲーム等の際には、より盛り上がる事ができる様、施設や敷地の使用について柔軟に認めるようにします。また試合がない時でもホームとして雰囲気づくりを進めるための取り組みを柔軟に行えるようにします。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税を活用して、喜入地域の新たな拠点施設となる鹿児島ユナイテッドFCトレーニング施設の整備を支援 | 鹿児島ユナイテッドFCトレーニング施設整備等支援事業 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・無償で用地貸付を行い、喜入地域の新たな拠点施設となる鹿児島ユナイテッドFCトレーニング施設の整備を支援 | 鹿児島ユナイテッドFCトレーニング施設用地貸付 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・本市を拠点とするプロサッカーボールチーム「鹿児島ユナイテッドFC」のホームゲームにおいて、「鹿児島をもっとひとつに。」プロジェクト実行委員会とともに賑わい創出イベント等を実施 ・本市を拠点とするプロバスケットボールチーム「鹿児島レブナイズ」のホームゲームにおいて、鹿児島レブナイズ地域活性化実行委員会とともに賑わい創出イベント等を実施 | 鹿児島ユナイテッドFC活動支援事業 鹿児島レブナイズ活動支援事業 | |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|---|---------------------------|------|
| <p>30 <u>スポーツ合宿の誘致</u></p> <p>民間事業者や教育研究機関等と連携し、食生活指導や科学的トレーニング指導といった魅力もPRし、プロ、実業団チームや学生の部活などスポーツ合宿の誘致を推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピックにおけるラグビー南アフリカチームの事前合宿を受入れ、感染症対策を講じながら、選手等のコンディションを整えられるようサポートを実施 | 東京オリンピック・パラリンピック事前合宿受入等事業 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島観光コンベンション協会が「MICE誘致戦略プラン」に基づき、MICE開催を推進しており、当協会に対して助成 | (再) MICE 推進補助金 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・合宿等の誘致を図るため、県外にある大学の学生の団体が本市内で実施する合宿及びスポーツ大会に対し助成 | 合宿・大会誘致推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・関係者と協議しながら、例年キャンプをしているチームや新たなチームの受入れを積極的に行っているほか、プロや実業団チームなどの受入時には、宿泊ホテルと連携して、地元食材を使い、バランスの取れた食事を提供するなど、充実したキャンプになるよう支援を実施 | スポーツキャンプ受入・誘致事業 | |
| <p>31 <u>市電延伸の検討を進めます。</u></p> <p>市電の観光路線延伸については、県と連携を図りながら、早期に最適なルートを選定し、試算内容を市民や市議会に対し明らかにします。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・県との意見交換を実施 ・路線の検討状況等を紹介する広報活動を実施（予定） | 路面電車観光路線検討事業 | ○ |
| <p>32 <u>磯新駅の整備</u></p> <p>なるべく交通渋滞への影響を避ける形で、磯新駅の整備に向けて検討を進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・磯新駅設置協議会とJR九州との間で新駅設置に関する覚書が交換された（3年3月） ・磯新駅設置協議会とJR九州との間で磯新駅の設計業務に関する基本協定を締結（3年10月） | 磯新駅設置促進事業 | ○ |
| <p>33 <u>水上交通の整備を検討します。</u></p> <p>海を活かしたまちづくりや観光地としての周遊性を向上させるため、鹿児島港内・鹿児島湾内における旅客水上交通の整備・誘致を検討します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・専門家の招請等による意見聴取を予定 | 稼ぐ観光パワーアップ実証実験事業 | ○ |
| <p>34 <u>リバーサイドの整備</u></p> <p>川沿いに市民の憩いの場を整備します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・甲突川右岸左岸緑地（高見橋～甲突橋）の利活用を検討中 | リバーサイド整備に向けた検討 | △ |
| <p>35 <u>eSportsの振興</u></p> <p>市民にとっての楽しみの場の創出ならびに観光誘客の観点から、eSportsの振興に努めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツへの関わりや具体的施策を検討中 | eスポーツ関連イベント等支援事業 | △ |
| 4 ICTを活用しもっと住みよい鹿児島をつくる。 | | | |
| <p>36 <u>ICT関連産業振興に取り組みます。</u></p> <p>ICT産業を鹿児島市の基幹産業に育てるべく、AI、IoT、スマート農業関連技術等の技術者育成、雇用の受け皿となる企業、個人事業主の誘致、市発注のICT関連調達地元発注など、総合的に取り組みを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ICT関連セミナーの開催（予定） | クリエイティブ産業創出拠点施設企画運営事業 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・年間2件以上の情報関連企業の立地を目指し、企業訪問活動や展示会への出展（予定）、PR活動等を実施 | (再) 企業立地推進事業 | |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|---|---------------------|------|
| <p>37 <u>新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。(DXの推進)</u></p> <p>電子手続の整備による利便性向上、地域交通へのICT活用による地域の足確保、スマホを活用した保健指導など、新たなICTを積極的に政策に取り入れ、市民生活の向上のために活用します。そしてDX（デジタルトランスフォーメーション）の担当部署を創設するとともに、DXの取り組みを強力に推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新たな技術を施策に積極的に取り入れ、DXの取組を推進し、市民の利便性を向上させるとともに、行政運営の効率化を進めるため、市長をCIOとして位置づけるとともに、民間の専門的な知見の活用に向け、CIO補佐官を民間から登用するほか、RPAや窓口音声認識システムを導入 ・CIO補佐官の登用 3年10月採用 ・RPAの導入 4年4月運用開始(予定) ・窓口音声認識システムの導入 ・3年8月に長寿支援課・障害福祉課に設置済み ・証明書発行等手数料の支払いにキャッシュレス決済の導入 ・3年7月本庁資産税課、各支所税務課、本庁市民課、各支所市民課・総務市民課及び各市民サービスステーションで運用開始 | 行政デジタル化推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策や対面規制の見直しとして、相談等業務のオンライン化を実施 ・保健支援課では、3年7月からオンライン相談を開始 ・国民健康保険課では、9月末からオンライン相談を開始 ・市民相談センター、消費生活センターでは、8月から電話受付時に案内開始 ・すこやか子育て交流館(りぼんかん)については、運用準備中で11月開始予定 | (再) 相談等業務オンライン化推進事業 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・健診等の受診促進や保健指導の拡充など切れ目ない支援の充実を図るため、乳幼児の成長記録等のデジタル管理や子育て等に関する情報が取得できる母子健康手帳アプリを3年9月1日に導入 | (再) 母子健康手帳アプリ導入事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・各種情報化施策を計画的及び効率的に推進することで、市民生活の利便性向上と地域の活性化を図ることを目的とした「次期鹿児島市地域情報化計画」の策定に向け、3年12月パブリックコメント実施(予定) ・4年3月までに策定予定 | 次期地域情報化計画策定事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度からの第二次鹿児島市公共交通ビジョン策定に向けた取組を実施 | (再) 公共交通ビジョン推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から子育て期までの支援を行うため、子育て世代包括支援センターを中心に、タブレット端末でのオンライン保健指導を活用 | (再) 妊娠・出産包括支援事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・電子申請システムを活用した窓口での申請など窓口手続きのオンライン化を推進 | 窓口手続オンライン化推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを通じた電子書籍の検索・貸出等が可能な電子図書館サービスを4年2月に運用開始(予定) | (再) 電子図書館サービス導入事業 | |
| <p>38 <u>行政手続のデジタル化を進めます。</u></p> <p>さまざまな手続にICTを活用し、市民の利便性を向上させるとともに、行政運営の効率化を進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・電子申請システムを活用した窓口での申請など窓口手続きのオンライン化を推進 | (再) 窓口手続オンライン化推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策や対面規制の見直しとして、相談等業務のオンライン化を実施 ・保健支援課では、3年7月からオンライン相談を開始 ・国民健康保険課では、9月末からオンライン相談を開始 ・市民相談センター、消費生活センターでは、8月から電話受付時に案内開始 ・すこやか子育て交流館(りぼんかん)については、運用準備中で11月開始予定 | (再) 相談等業務オンライン化推進事業 | ○ |
| <p>39 <u>テレワークを行う企業の誘致に取り組みます。</u></p> <p>テレワークに取り組む企業を鹿児島市に誘致できるよう、積極的に環境整備と誘致活動を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・テレワークの環境整備に着目した企業誘致の方策について検討中 | (再) 企業立地推進事業 | △ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|--|---|------|
| Ⅲ 全ての人に、希望とチャンス。安心して生活できる鹿児島をつくる。 | | | |
| 5 安心できる子育て環境をつくる。 | | | |
| <p>40 <u>待機児童ゼロを実現します。</u></p> <p>現在全国1700以上の自治体中ワースト6位である、保育所待機児童数ゼロを早期に実現します。また放課後児童クラブの待機児童解消に向け取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 認定こども園に配置される保育教諭の確保 保育所等に勤務する保育士資格を有していない者の資格取得を支援 各校区の児童クラブ運営委員会等に委託料を支出し、市設置児童クラブを運営 待機児童の解消に向けて、児童クラブを整備 待機児童数（5月1日時点） 2年度：106人、3年度：42人 市設置児童クラブ数 2年度：168、3年度：176、4年度：180（予定） 民間設置児童クラブに補助 民間設置児童クラブ数 2年度：27、3年度：27 学生向けに保育士等の仕事の魅力や情報を発信するため、関係団体及び保育士養成施設との意見交換会、イベント、リーフレットの作成・配付を実施 保育士の就業継続及び離職防止を図り、保育士が働きやすい環境を整備するために、保育士の宿舎を借り上げるための費用の一部を補助 入所児童の安全確保、保育環境の改善、保育提供量の維持を目的に、園舎の耐震化又は老朽改築整備を行う法人に対し、整備に要する費用の一部を補助 | <p>保育士資格取得支援事業</p> <p>放課後児童健全育成事業</p> <p>児童クラブ施設整備事業</p> <p>放課後児童健全育成補助事業</p> <p>関係機関等と連携した保育士確保事業</p> <p>保育士宿舎借り上げ支援事業（私立保育所等補助事業）</p> <p>児童福祉施設整備費等補助事業</p> | ○ |
| <p>41 <u>保育士の確保策を講じます。</u></p> <p>潜在保育士の復職支援策を講じるとともに、鹿児島市内で働く保育士の育成に向け、市独自の奨学金を検討します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 認定こども園に配置される保育教諭の確保 保育所等に勤務する保育士資格を有していない者の資格取得を支援 学生向けに保育士等の仕事の魅力や情報を発信するため、関係団体及び保育士養成施設との意見交換会、イベント、リーフレットの作成・配付を実施 保育士の専門性と質の高い人材を安定的に確保するという観点から、保育士・保育所支援センターの設置及び運営に要する費用の一部を補助 保育士の就業継続及び離職防止を図り、保育士が働きやすい環境を整備するために、保育士の宿舎を借り上げるための費用の一部を補助 | <p>（再）保育士資格取得支援事業</p> <p>（再）関係機関等と連携した保育士確保事業</p> <p>保育士・保育所支援センター運営事業</p> <p>（再）保育士宿舎借り上げ支援事業（私立保育所等補助事業）</p> | ○ |
| <p>42 <u>地域子育て支援センターの充実強化</u></p> <p>身近な子育て支援体制を整備するため、地域子育て支援センター等の充実強化を図ります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援センターの配置については、子育て支援体制全体の充実を図るという視点に立ち、これまでの取組の成果を含め、改めて、支援センター利用者等から意見を聴取し、ニーズに対応できる配置の方針を策定（予定） | 地域子育て支援センター事業 | △ |
| <p>43 <u>病児保育体制の整備</u></p> <p>利用実態を踏まえながら、より使いやすい病児保育の仕組みをつくります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 保護者の子育てと就労等との両立を支援するため、児童等が病気の回復期にあり集団保育等が困難である期間において、一時的に児童を預かる病児・病後児保育を実施 | 病児・病後児保育事業 | △ |
| <p>44 <u>児童相談所の早期整備と機能充実</u></p> <p>児童相談所を早期に整備するとともに、相談機能などの子育て支援機能の充実を図ります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童虐待対策を強化するとともに、子どもと家庭を総合的に支援する体制の充実を図るため、児童相談所について、関連機能を含めた検討を実施中 有識者等の意見を聴取するため、児童相談所等複合施設検討委員会を設置し、3年6月に第1回会議を開催。年度内に3～4回程度の会議開催予定 | 児童相談所設置検討事業 | ○ |
| <p>45 <u>こども医療費の負担軽減</u></p> <p>こども医療費助成制度について、自己負担ゼロの年齢引き上げや、自己負担額の引き下げなど、負担軽減に向けて検討を進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> こどもの健康と健やかな育成を図るため、こどもの保護者に対して医療費の一部を助成 3年4月から、市町村民税非課税世帯について、助成対象を18歳までに拡充し医療機関等での窓口負担をなくす制度を導入 | こども医療費助成事業 | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|---|--------------------|------|
| <p>子どもを産み・育てる親に寄り添う取り組みを進めます。</p> <p>46 産後ケアの充実、相談体制の充実、乳幼児と出かけやすい環境の整備など、子育て中の親に寄り添う取り組みを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の対策として、感染した妊産婦へ電話や訪問等による相談や分娩前のPCR検査の費用助成など、不安を抱える妊産婦への支援を実施 | (再) 妊産婦寄り添い支援事業 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・健診等の受診促進や保健指導の拡充など切れ目ない支援の充実を図るため、乳幼児の成長記録等のデジタル管理や子育て等に関する情報が取得できる母子健康手帳アプリを3年9月1日に導入 | (再) 母子健康手帳アプリ導入事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から子育て期までの支援を行うため、子育て世代包括支援センターを中心に、タブレット端末でのオンライン保健指導を活用 ・産後ケア事業の対象を3か月以内から1年未満に拡充 | 妊娠・出産包括支援事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・衛生用品等の購入で感染症対策を図り、新生児・妊産婦へ訪問による保健指導を実施 ・産後の母親に必要な情報を掲載したパンフレットを作成し、産後入院中の母親に配付 | 新生児・妊産婦訪問指導事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・女性の身上や生活の相談・助言 ・夫等からの暴力に関する相談対応、女性の保護 ・母子生活支援施設に入所中または退所後の女性の自立を支援 | 婦人相談員設置事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・すこやか子育て交流館の管理運営 | すこやか子育て交流館管理運営等事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・市内4か所の親子つどいの広場（東部、南部、西部、北部）を運営 | 親子つどいの広場運営事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・保育を必要としている世帯の相談に応じ、それぞれのニーズに合ったサービスの情報を提供するため、よりきめ細やかな対応を行う保育コーディネーターを配置 | 保育コーディネーター配置事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産の安全性の確保及び健康診査にかかる経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査を公費負担で実施 | 妊婦健康診査・健康相談事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が健やかにのびのび育つための環境づくりを進めるため、身近な地域での育児相談や自主グループの育成、母子保健推進活動を実施 | 育児支援事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達障害の早期発見、支援のため、関係機関の連携のもと、子どもの発達障害に応じた相談等を実施 | (再) 子どもすこやか安心ねっと事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては、関係部署と連携し、適切なサービスを提供 | こんにちは赤ちゃん事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・慢性的な疾病で療養中の児童及びその家族からの相談に応じ、必要な情報提供や助言等を行うとともに、自立に向けた各種支援策の計画策定等を実施 | 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・H T L V - 1の母子感染を予防するほか、妊産婦の健康の保持増進と乳児の健全な発育・発達の促進を図るため、妊産婦・乳児用ミルクを支給 | 未来を守るミルク支給事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・不妊専門相談センターにおいて、不妊や不育症について悩む夫婦等を支援 | 不妊専門相談センター事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・産婦を継続してサポートするため、小児科医等が産後2か月頃の母親の心の状態や育児の状況を確認 | 産婦支援小児科連携事業 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・母子・父子家庭の生活の安定、児童の福祉の増進を図るため、母子・父子自立支援員がひとり親家庭等の相談に応じ、その自立に必要な情報提供および助言、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を実施 | 母子・父子自立支援員設置事業 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・家庭における適正な児童養育、その他家庭児童の福祉の向上を図るための相談、指導を行うため、家庭児童相談員を配置 | 家庭児童相談員設置事業 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭等が抱える様々な課題をまとめて相談できるよう、8月の児童扶養手当現況届の受付に合わせ、養育費・家計・就労・子育てや生活といった相談ブースを設置（8月12～18日実施済） | ひとり親家庭等総合相談会事業 | | |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|--|---|------|
| <p>「<u>貧困の連鎖</u>」を防ぐために取り組みます。</p> <p>47 経済的に恵まれない家庭の子どもたちに対する学習支援の充実を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の事情により、家庭での学習が困難な小学5、6年生及び中学生を対象とした学習会を実施 ・子どもの貧困対策を推進するため、子どもの未来応援プランの冊子を作成するとともに、子どもの居場所づくりの活動をサポート ・経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、学用品費、学校給食費及び修学旅行費などを援助（3年3月に令和3年度新1年生へ新入学学用品費を支給） | <p>子ども学習サポート事業</p> <p>子どもの未来応援事業</p> <p>就学援助事業（小・中）</p> | ○ |
| <p>「<u>発達障害の療育支援</u>」を行います。</p> <p>48 発達障害の早期発見・療育に向けた取り組みを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・在宅療育その他障害者福祉に関する相談に応じるとともに、各種福祉サービスの提供に係る支援、啓発活動等を実施 ・障害児通所支援等の提供（3年度）延べ利用者数：79,505人（見込） ・子どもの発達障害の早期発見、支援のため、関係機関の連携のもと、子どもの発達障害に応じた相談等を実施 ・妊娠期から子育て期までの支援を行うため、子育て世代包括支援センターを中心に、タブレット端末でのオンライン保健指導を活用 ・産後ケア事業の対象を3か月以内から1年未満に拡充 | <p>障害児地域療育等支援事業</p> <p>障害児通所等支援事業</p> <p>子どもすこやか安心ねっと事業</p> <p>（再）妊娠・出産包括支援事業</p> | ○ |
| <p>「<u>スクールロイヤーの導入</u>」を図ります。</p> <p>49 子どもたちの安全を守り、充実した教育環境をつくるために、学校現場での法的紛争の未然防止や解決に専門家が適切に関与・助言できる仕組みを作ります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・導入に向けて検討中。 | <p>スクールロイヤー導入に向けた取組</p> | △ |
| <p>「<u>通学路の安全確保</u>」</p> <p>50 歩道の確保・整備など、通学路の安全を確保します。また、特別支援学校等への通学路についても、点字ブロックの設置など、特に必要な対応を行い安全を確保します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全を確保するため、川上上通線における歩道整備や、ゾーン30の整備として大竜地区ほか1地区において路側帯の設置・拡幅やカラー舗装等を実施 ・交通機能の円滑化及び交通安全の確保のため、下門仲組線において市道の拡幅改良に向けた用地取得を実施（予定） ・安全で快適な通行空間の確保や、道路の防災性の向上を図るため、城南線の無電柱化に向けた支障物件の移設を実施（予定） ・生活環境の改善及び交通安全の確保のため、武岡団地中央線において舗装改良を実施 ・地域のボランティアを活用した登下校の安全指導（令和3年度 延べ活動人数13,483人【9月末現在】） ・15人のスクールガード・リーダーによる登下校時の巡回指導と各学校への安全指導（週1回、月4回を目安） | <p>交通安全施設整備事業</p> <p>幹線道路整備事業</p> <p>無電柱化推進計画事業</p> <p>舗装新設改良事業</p> <p>学校支援ボランティア事業</p> <p>地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業</p> | ○ |
| 6 稼げる力。「たくましい鹿児島の子」をつくる。 | | | |
| <p>「<u>キャリア教育の充実</u>」を図ります。</p> <p>51 インターンシップの実施、地域の様々な職業の方々から話を聞く場を設けるなど、子どもたちが「将来何になりたい」→「だからこの勉強をする必要がある」→「そのためにこの学校・進路を選ぶ」というキャリアプランの設定を主体的にできるような取り組みを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・若者の市外流出抑制に向け、中学生をはじめとする若い世代に地元企業への理解促進等を図る就職応援フェアを労働局・県と連携して開催（予定） ・地域の人材や外部講師等を授業に活用する報償費やものづくり体験授業に係る材料費として需用費等を支給 | <p>若者就職応援フェア「みらいワーク“かごしま”」開催事業</p> <p>個性あふれる学校づくり推進事業</p> | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|--|--|------|
| <p><u>IT関連教育を推進します。</u></p> <p>52 希望する地域・学校がプログラミング教育などIT関連教育を行えるよう、教育内容や講師等の環境整備を行い、支援を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ G I G Aスクール構想に必要な I C T機器の整備 ・ 教育用 P C、校務用 P Cの整備 ・ I C T支援員による学校訪問、電話やオンライン支援を実施 ・ プログラム教育を含めた教員のスキルに応じた指導力向上のための研修を開催 | <p>(再) I C T環境整備事業</p> <p>(再) 教育の情報化推進事業</p> | ○ |
| <p><u>教育に、IT・インターネットを積極的に活用します。</u></p> <p>53 教育に、PCやタブレット端末の活用や、インターネット経由での教材配信など、IT・インターネットを積極的に活用し、ひとりひとりに合った、より質の高い教育を目指します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ G I G Aスクール構想に必要な I C T機器を整備 ・ 教育用 P C、校務用 P Cを整備 ・ モバイル無線 L A Nルータに使用する S I Mカードを購入 ・ I C Tを活用した教育を推進する「授業目的公衆送信補償金制度」へ参加 | <p>I C T環境整備事業</p> <p>教育の情報化推進事業</p> | ○ |
| <p><u>青少年の海外派遣、留学支援を広く行います。</u></p> <p>54 今後の鹿児島を担う青少年（学生、青年経営層など）の国際感覚を養い、海外との人的ネットワークを構築するため、海外派遣、留学支援を行います。また実施に当たっては、特に経済的事情で自費で行くことが困難な青少年が参加する機会を十分に持てるよう、募集や選定において考慮します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、2年度及び3年度は青少年の海外派遣を休止 | <p>青少年の翼事業、青少年東南アジア派遣事業</p> | □ |
| <p><u>「外国人の友達を作ろう！」</u></p> <p>55 本県在住の外国人、留学生、研修生などと子どもたちとの交流を促進し、子どもたちが「外国人の友達を作る」ことを通じて国際交流を肌で感じ、またその必要性に気付く機会を広げます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流センターにおいて在住外国人との交流イベント等を実施 | <p>国際交流センター管理運営事業</p> | ○ |
| <p><u>市立高校の振興と環境整備を図ります。</u></p> <p>56 市立高校（鹿児島玉龍高校、鹿児島商業高校、鹿児島女子高校）について、それぞれ時代に合った独自性と専門性を高める方策を検討するため、同窓会も交えた検討組織をつくります。またより充実した教育環境の整備を図るため、ふるさと納税の用途について「各高校の教育環境整備」を指定できるようにします。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 市立3高等学校（鹿児島玉龍・鹿児島商業・鹿児島女子）を対象に学校を指定した寄附募集を実施 ・ 学校毎の寄附金については、毎年度基金へ積立てを行い、各学校の特色ある取組の事業費に相当する寄附金額が集まった段階で事業を予算化し、その財源として寄附金を活用予定 ・ 「スクール・ミッションの再定義」及び「特色ある学校づくり」について検討 ・ 3年9月に検討委員会を実施し、検討組織の立ち上げ等について研究 | <p>母校応援ふるさと寄附金事業</p> <p>市立高等学校教育振興施策検討委員会</p> | ○ |
| <p>7 人生100年時代。「持続可能な」生きがいにあふれる福祉。</p> | | | |
| <p><u>疾病予防・介護予防の促進</u></p> <p>57 高齢者の方々がいつまでも元気に活躍して頂ける社会を実現するため、疾病予防・介護予防に関する施策にインセンティブを導入するなど強力に推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、医療・介護・健診データ分析により、地域の健康課題の把握及び支援対象者を抽出 ・ 事業全体の企画・調整を実施 ・ 医療・介護・健診データに基づき抽出された高齢者への個別的支援を実施 ・ 地域の健康課題に応じた通いの場等への積極的な支援等を実施 ・ 地域の中で健康づくりを推進するために市民との連絡会や交流会を実施 ・ 各保健センターにおける健康づくりイベントの開催（予定） ・ 運動普及推進員協議会主催の「正しく安全なウォーキング大会」等を支援 ・ よかよか元気クラブの中で、一定の条件を満たした団体の活動に対し、換金可能なグループポイントを付与（県補助金。1ポイント=1,000円、年間上限6万円） | <p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業</p> <p>すこやか長寿健康支援事業</p> <p>地域保健活動事業</p> | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|---|---------------------------------|------|
| <p>57 高齢者の方々がいつまでも元気に活躍して頂ける社会を実現するため、疾病予防・介護予防に関する施策にインセンティブを導入するなど強かに推進します。</p> <p><u>疾病予防・介護予防の促進</u></p> | <ul style="list-style-type: none"> ・国保被保険者のうち、40～74歳を対象とした特定健康診査を無料で、また、30歳代を対象とした若年者健診を500円で実施している。特定健診は通年実施、若年者診断は10～3月に実施 ・健診受診者に対して、登録事業所において割引等の特典を受けられるトク得クーポンを交付 | (再) 特定健康診査事業 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診および若年者健診の健診結果に基づき、生活習慣病の発症予防・重症化予防のために保健師、看護師、管理栄養士による訪問等の保健指導を実施（通年実施） | 健診受診者保健指導事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症の重症化を予防するための病診連携体制を構築 ・現在、対象者への保健指導體制について関係団体と協議中 | 糖尿病性腎症重症化予防プログラム推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・長寿健康診査の実施 ・後期高齢者保健事業としてはり・きゅう施設利用補助、人間ドック、脳ドック利用補助の実施 | (再) 後期高齢者長寿健診事業 後期高齢者保健事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがいがづくりや介護予防を推進するため、介護保険施設等で行うボランティア活動や健康診査の受診に対し、換金等が可能なポイントを付与 | 高齢者いきいきポイント推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士等のリハビリテーション専門職が、介護予防の取組を総合的に支援 | 地域リハビリテーション活動支援事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・よかよか体操やらくらく体操等の介護予防活動の地域展開を推進 ・閉じこもりを防止するとともに日常生活の自立を助け、介護を要する状態になることを予防するため、高齢者を対象に、身近な公民館等で認知症予防を主体とした活動をするお達者クラブを運営 | よかよか元気クラブ活動支援事業 お達者クラブ運営支援事業 | |
| <p>58 特定健診やがん検診などの健康診断受診率を向上させるため、普及啓発、受けやすい場所で実施する、受診者に対するインセンティブ（特典）を用意するなど、様々な対策を講じます。</p> <p><u>健康診断受診率を向上させます。</u></p> | <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じての各種がん検診等を実施 ・半日がん検診対象年齢拡大（令和3年度より40、50歳に加え、60、70歳を追加） ・土日、夕方検診の実施 | 元気いきいき検診事業 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・定期の健康診断や結核患者との接触者に対する健診を実施 ・80歳以上の結核健診について個別健診を実施 | 胸部エックス線撮影健康診断事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・国保被保険者のうち、40～74歳を対象とした特定健康診査を無料で、また、30歳代を対象とした若年者健診を500円で実施。受診率向上のため、未受診者勧奨通知を外部委託にて実施 ・健診受診者に対して、登録事業所において割引等の特典を受けられるトク得クーポンを交付 | 特定健康診査事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・3年10月以降に長寿健康診査未受診者を対象に受診勧奨ハガキを送付（予定） ・3年9月に訪問指導で配布する受診勧奨ちらしを作成 | 後期高齢者長寿健診事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがいがづくりや介護予防を推進するため、介護保険施設等で行うボランティア活動や健康診査の受診に対し、換金等が可能なポイントを付与 | (再) 高齢者いきいきポイント推進事業 | |
| <p>59 認知症の早期発見・早期治療を行うために、市民に向けて認知症のさらなる普及啓発を図り、専門治療機関の拡充を図ります。また一人暮らしの高齢者向けに、民間事業者等とも連携し、早期発見・早期治療できる仕組みを整備します。そして家族をサポートできる仕組みづくりを進めます。</p> <p><u>認知症を早期発見・早期治療できる仕組みを整備します。</u></p> | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症やその疑いにより行方不明となった高齢者等の早期発見のため、市LINE公式アカウントを活用して情報を配信する仕組みを3年10月から運用開始 | 認知症あんしんサポート事業 | □ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・本庁及び各支所にて認知症の啓発パネル展を実施（3年9月～12月予定） ・認知症の普及啓発チラシ配布（3年9月） | 認知症施策推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チームが、定例・随時でチーム員会議を実施するなど支援を実施 | 認知症初期集中支援推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座や認知症等見守りメイト養成講座、認知症介護教室を実施 ・市職員向け（市長部局）の認知症サポーター養成講座を実施（8月～） | 認知症オレンジサポーター養成事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・在宅の認知症高齢者やその疑いがある人が行方不明になるのを防ぐために、位置情報サービス等を利用する家族等に対して加入経費の一部を助成 | 高齢者見守り支援事業 | |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|---|--|------|
| <p>60 <u>重度心身障害者等医療費制度の手続を簡素化します。</u> 県と連携し、重度心身障害者等医療費制度の手続を、自動償還払い方式の導入など簡素化できるよう取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・県市長会から県に制度見直しを要望しており、3年度に、県が重度心身障害者医療費助成在り方検討事業費を計上し、他県の調査や市町村との協議、調整を行うことから、引き続き要望するとともに、県からの協議等に対応していく | 重度心身障害者等医療費助成事業 | △ |
| <p>61 <u>障害者就労施設等への発注</u> 障害者の働く場・機会を増やすため、障害者就労施設等への優先発注や調達を進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度鹿児島市障害者就労施設等からの物品等の調達推進方針を策定（目標額）37,000千円 ・障害者就労施設等を設置する法人等が共同で活動するナイスハート運営協議会へ助成 | 障害者就労施設等からの物品等の調達推進方針 鹿児島市ナイスハート支援事業 | ○ |
| <p>62 <u>手話言語条例の制定</u> 手話言語条例を制定します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・障害者への理解促進の気運を醸成し、障害者の様々な課題の解消と、意思疎通支援の充実による共生社会の実現につなげるため、本市独自の手話に関する条例の制定について検討中 | 手話に関する条例の制定について検討中 | △ |
| <p>63 <u>バリアフリー化の推進</u> 市立施設のバリアフリー化を推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改造工事や長寿命化改良工事に合わせて施設のバリアフリー化を実施 ・昇降口の段差解消やバリアフリースイールの設置等 ・松原小、八幡小の校舎建替えにおいて、バリアフリー基準を満たす設計を実施 ・EVやバリアフリースイールの設置等 ・老朽化したプールの改築及び実施設計等 ・年1～2校で実施 ・3年度は、八幡小・玉江小プールの改築、吉野小プールの設計等を実施 ※プールの改築に際しては、バリアフリーに配慮した整備に取り組んでいる。（入口スロープ等） ・スロープや階段への手すり設置など、バリアフリーに配慮した施設整備を実施 ・県の福祉のまちづくり条例に基づき、障害者等が安全かつ快適に利用できるように施設の新築等の内容について届出を受理 ・与次郎ヶ浜2号線など7線において市道のバリアフリー化を実施 ・市営住宅建替時におけるバリアフリー化の推進 3年10月：玉里団地住宅27号棟着手 4年2月：大明丘住宅16号棟、西伊敷住宅32号棟完成（予定） ・令和4年度からの第三次鹿児島市交通バリアフリー基本構想策定に向けた取組を実施 | 校舎・屋体等整備事業（小・中・高） 校舎建替事業 小学校プール施設整備事業 地域公民館整備事業 校区公民館・地区コミュニティセンター設備等整備事業 県福祉のまちづくり条例関係事務 市道バリアフリー推進事業 市営住宅建設事業 交通バリアフリー基本構想推進事業 | ○ |
| <p>64 <u>高齢者の生きがい就労</u> 高齢者の知恵や技能、経験を発揮して頂き、活躍の場ならびに生きがいとしての就労の場を拡充するため、マッチングの場などの環境整備を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターに対し、同センターが行う各種事業や運営に要する経費を助成 | 高齢者就業機会確保等事業 | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|--|--|------|
| IV 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる。 | | | |
| 8 「持続可能」なまちづくり。「持続可能」なくみづくり。 | | | |
| <p>「持続可能性」を重視しSDGsの取り組みを進めます。</p> <p>65 市の施策・事業をSDGs (Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標) の考え方に基づき整理するとともに、特に「持続可能性」を重視しSDGsの取り組みを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・かごしまSDGs推進パートナーの募集・登録を実施 ・市民のひろばや市ホームページを活用したSDGsの普及・啓発を実施 ・かごしまSDGsパートナーシップ推進会議を開催予定 (11/15) ・普及啓発用パンフレットの作成 (予定) | SDGs推進事業 | ○ |
| <p>環境と調和した再生可能エネルギーの開発・活用を進めます。</p> <p>66 再生可能エネルギーの導入を、周辺環境と調和した持続可能な形で進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・北部・南部清掃工場等で発電されるゼロカーボン電力を、他の市有施設に供給する仕組み(ゼロカーボン電力供給システム)を構築するための基礎調査を実施 ・調査結果を基にゼロカーボン電力供給システム構築のための課題検証等を行う予定 ・再生可能エネルギーの普及促進のため、再生可能エネルギー活用計画を策定予定 ・新南部清掃工場の稼働に向け、建設工事を実施 ・3年12月末記念式典実施 (予定) ・4年1月からバイオガス施設と高効率発電施設の運営を開始 (予定) ・市民や事業者にもなる環境意識の向上と具体的な取組を喚起するため、市が率先して市役所で使用する電力のゼロカーボン電力への切り替えを実施 ・本庁舎はゼロカーボン電力供給契約を締結し、使用電力のゼロカーボン化を実施 | <p>ゼロカーボン市役所に向けた電力量等調査事業</p> <p>第三次環境基本計画・第二次地球温暖化対策アクションプラン策定事業</p> <p>第二次鹿児島市再生可能エネルギー導入促進行動計画策定事業</p> <p>新南部清掃工場(バイオガス施設・高効率発電施設)整備・運営事業</p> <p>ゼロカーボン電力切替事業</p> <p>本庁舎ゼロカーボン電力切替事業</p> | ○ |
| <p>避難所等における再生可能エネルギーの活用</p> <p>67 災害時に電源の必要性が高い避難所等において、再生可能エネルギーや蓄電池を積極的に導入するとともに、通常時の活用としてEVの充電ステーション等としての活用を検討します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・避難所への太陽光発電設備及び蓄電池の導入について検討中 | 避難所への太陽光発電設備等の導入の検討 | △ |
| <p>リサイクルの促進</p> <p>68 ごみの減量ならびにリサイクル率の向上に向けた取り組みを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・使い捨てプラスチック削減の重要性等について意識啓発を図るため、ワークショップ等を開催 ・プラスチック資源循環への対応など、循環型社会の実現に向けて、第四次一般廃棄物処理基本計画を策定予定 ・新南部清掃工場の稼働に向け、建設工事を実施 ・3年12月末記念式典実施 (予定) ・4年1月からバイオガス施設と高効率発電施設の運営を開始 (予定) ・家庭のごみの減量化・資源化を図るため、古紙類、電球・蛍光灯、乾電池、スプレー缶類、金属類の分別収集を実施 ・使用済小型電子機器の資源化を促進するため、公共施設等に回収ボックスを設置し、拠点回収を実施 ・ごみの減量化・資源化意識の向上を図るため、生ごみ処理機器の購入に対し助成するとともに、小学生を対象に「生ごみのリサイクル授業」を実施 | <p>脱プラスチック生活チャレンジ事業</p> <p>一般廃棄物処理基本計画策定事業</p> <p>(再)新南部清掃工場(バイオガス施設・高効率発電施設)整備・運営事業</p> <p>資源化推進事業</p> <p>小型家電リサイクル事業</p> <p>ホームフードリサイクルグリーン事業</p> | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|---|--------------------------|------|
| <p>68 <u>リサイクルの促進</u> ごみの減量ならびにリサイクル率の向上に向けた取り組みを行います。</p> | ・古紙類などの資源化を図るため、資源物回収活動を行う市民団体に対して、補助金を交付 | 資源物回収活動の活性化推進事業 | ○ |
| | ・剪定枝の資源化を図るため、戸別収集を行うとともに、粉碎機の無料貸出や購入費に対する助成を実施 | 剪定枝資源化事業 | |
| | ・事業活動に伴って排出される廃棄物の減量化・資源化を図るため、産業廃棄物を多量に排出する事業所から廃棄物処理計画書の徴取や、排出事業者から一般廃棄物の減量に関する計画書等の徴取を実施 | 廃棄物適正処理指導事業 | |
| | ・廃棄物の適正処理を推進し、廃棄物の減量化・資源化を図るため、監視指導員による産業廃棄物処理施設及び自動車リサイクル法関係事業所への立入り・指導を実施 | 廃棄物監視指導員設置事業 | |
| | ・事業所から排出される事業系ごみの減量化・資源化を図るため、清掃工場に搬入されるごみの搬入検査を実施 | 事業系ごみ減量推進事業 | |
| | ・年次計画に基づき、経年劣化した機器等の改修工事・修繕を実施 | リサイクルプラザ施設整備事業 | |
| | ・缶、びん、ペットボトル、プラスチック容器類の適正処理を実施 | リサイクルプラザ維持管理等事業 | |
| | ・家庭ごみの減量目標達成に向けて、減量化・資源化を促進するため、テレビCMやインターネット広告等を活用し、効果的な情報発信を実施 | みんなで取り組むごみ減量PR事業 | |
| | ・3Rの意識啓発と実践活動の推進を図るため、分別説明会の開催や、ごみ分別アプリの配信を実施 ・3年12月に令和4年版のごみ出しカレンダーを配布（予定） | リデュース・リユース・リサイクル（3R）推進事業 | |
| <p>69 <u>公共交通機関の利便性向上</u> 市電やバスなど交通の結節点の整備や、停留所の環境整備を進め、より使いやすい公共交通を目指します。またEVバスの導入など、環境にやさしい交通網の整備にも努めます。</p> | ・鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業に合わせて、鹿児島駅前停留場をバリアフリーに対応した停留場として整備（令和3年3月27日供用開始） | 鹿児島駅前停留場整備事業 | ○ |
| | ・待合環境改善のため、バス停上屋を設置、補修 | バス停留所上屋整備事業 | |
| | ・高所作業車1台を更新 | 高所作業車更新事業 | |
| | ・令和3年度、1両を更新（2111号） | VVVF制御装置更新事業 | |
| | ・谷山のシーサス分岐器を更换 | 渡り線その他分岐器更换事業 | |
| | ・センターポール照明を水銀灯からLEDへ交換 | センターポール照明LED化事業 | |
| | ・谷山線の電車線柱7本を建替 | 谷山線電車線柱建替え及び電車線改良事業 | |
| | ・令和4年度からの第二次鹿児島市公共交通ビジョン策定に向けた取組を実施 | 公共交通ビジョン推進事業 | |
| | ・令和4年度からの第三次鹿児島市交通バリアフリー基本構想策定に向けた取組を実施 | 交通バリアフリー基本構想推進事業 | |
| ・ゼロカーボンシティかごしまの実現に向けてCO ₂ 排出量を削減するため、次世代自動車等を購入する市民・事業者に対して補助を実施 | 次世代自動車等普及促進事業 | | |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|---|---|------|
| <p><u>在来線の利用促進を図ります。</u></p> <p>地域の重要な交通手段である在来線について、観光客を含めた利用促進を図るため、鉄道を利用した周遊ルートの整備や、バス等への乗り換えの利便性向上など利用環境向上に向け、必要な取り組みを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 本市が参画する協議会において、在来線の利用促進策を検討・実施 | 在来線の利用促進（鹿児島県鉄道整備促進協議会負担金、指宿枕崎線輸送強化促進期成会負担金） | ○ |
| <p><u>空き家の有効活用を進めます。</u></p> <p>71 空き家・中古住宅等の再生支援に取り組みます。また空き家になった最初の段階で利用価値を高め、廃屋に至ってしまわないよう取り組みを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識を有する宅地建物取引士や建築士をアドバイザーとして派遣 空き家をリフォームする経費の一部を補助 3年7～9月 町内会長等への聞き取り調査、現地調査 3年10～1月 所有者調査、所有者（管理者）の意向調査（予定） 4年2～3月 使用可能な空き家のリスト化（予定） | 空家活用アドバイザー派遣事業 安全安心住宅ストック支援事業 桜島の未来を拓く空き家マッチング事業 | ○ |
| <p><u>既存集落の過疎化対策に取り組みます。</u></p> <p>72 主に市街化調整区域など人口減少、過疎化が進行する既存集落において、交流人口の増大など集落の維持に向けた取り組みを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 各校区の地域コミュニティ協議会のプラン策定や活動等に対し助成するとともに、地域連携コーディネーターによる支援を実施 土地利用ガイドプランにおける集落核では、県が災害レッドゾーンを一部設定し、分譲住宅の開発行為等が原則禁止となったため対応策について検討（予定） 地域住民のふれあいと地域社会の活性化を促進し、地域の振興を図るため、地域まつりへの助成を行う <ul style="list-style-type: none"> 郡山：春まつりは規模を縮小して実施済。夏まつりは中止とし、「Web版夏まつり」をSNS上に動画配信した。 吉田、喜入、松元：新型コロナウイルス感染症のまん延状況により主催者が中止を決定した。 都市と農村の交流促進を図るため、農作業体験や漁業体験などのイベントを実施 定期的な講座の開設やイベントの開催により、市民の学習機会や交流の場を提供 <ul style="list-style-type: none"> 3年11月に秋まつりイベントを実施（予定） 指定管理者と連携を図り、市民の方々が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しみながら交流することができるように努め、地域の活性化を図るため、ふれあいスポーツランドを運営 動物の知識を広め親しみを深めることにより、自然環境への意識高揚を図るとともに、市民の健全な余暇の活用に供し、あわせて本市の観光の振興を図るため、平川動物公園を管理運営 鹿児島市内で出土した埋蔵文化財の展示 <ul style="list-style-type: none"> 特別企画展を含め年4回の企画展を開催 土器づくり、勾玉づくりなど古代体験学習 ビデオ上映会 など 指定管理者と連携を図り、市民の方々が気軽にスポーツやレクリエーションを楽しみながら交流することができるように努め、地域の活性化を図るため、かごしま健康の森公園を運営 伊敷地域はもとよりその周辺地域にある温泉施設などの様々な施設の利用促進に相乗効果をもたらし、地域の活性化を図るため、パークゴルフ場を管理運営 | 地域コミュニティ協議会の活動支援 コンパクトな市街地形成促進事業 地域まつり支援事業（桜島以外の合併4支所） グリーン・ツーリズム推進事業 かごしま文化工芸村の運営 ふれあいスポーツランドの運営 平川動物公園管理運営事業 ふるさと考古歴史館管理運営事業 かごしま健康の森公園の運営 パークゴルフ場管理運営事業 | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|--|--|------|
| <p>既存集落の過疎化対策に取り組みます。</p> <p>72 主に市街化調整区域など人口減少、過疎化が進行する既存集落において、交流人口の増大など集落の維持に向けた取り組みを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・都市農業センターの施設、市民農園、四季の花園などを管理運営 | 都市農業センター管理運営費 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「かごしま近代化産業遺産協働行動計画」に基づき、当該地域の活性化を図るため、町内会や市民団体等と世界文化遺産を活用したイベント等を実施 | 世界遺産推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所の運営団体と連携し、施設の利用促進を図り、吉田地域の活性化を図るため、輝楽里よしだ館を運営 | グリーン・ツーリズム施設管理事業（輝楽里よしだ館） | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用したブランド力の向上、特産品のPR ・魅力情報の発信 ・その他桜島地域の活性化及び活力の維持強化 | さくらじま地域おこし協力隊活動事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・地球科学的価値を持つジオサイト等を活用したツアー等を実施 | 桜島・錦江湾ジオパーク推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の誘致及び滞在型観光の振興を図るため、世界有数の活火山「桜島」で行うという特性を生かし、観光鹿児島を県内外へ発信するイベントを開催 | 桜島火の島祭り開催事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と連携し、本市の観光振興に取り組むため、指定管理者と協定を締結し、国民宿舎レインボー桜島を運営 | 国民宿舎レインボー桜島管理運営事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所及びレストランの運営団体と連携し、施設の利用促進を図り、桜島地域の活性化を図るため、火の島めぐみ館を運営 | グリーン・ツーリズム施設管理事業（火の島めぐみ館） | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・本市の観光振興に取り組むため、観光施設の維持管理を実施 | 観光施設維持管理事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・喜入地域の活性化を図るため、観光農業公園に地域おこし協力隊員を配置し、地域と連携したイベント企画等を実施 | 観光農業公園管理運営事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康の増進及び交流の促進を図るため、マリンピア喜入を管理運営 | マリンピア喜入管理運営事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税を活用して、喜入地域の新たな拠点施設となる鹿児島ユナイテッドF Cトレーニング施設の整備を支援 | (再)鹿児島ユナイテッドF Cトレーニング施設整備等支援事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・無償で用地貸付を行い、喜入地域の新たな拠点施設となる鹿児島ユナイテッドF Cトレーニング施設の整備を支援 | (再)鹿児島ユナイテッドF Cトレーニング施設用地貸付 | |
| | <p>計画的なインフラ補修</p> <p>73 道路、橋りょう、トンネルなどインフラの補修に今後かかる費用の正確な試算を行うとともに、長寿命化などの対応を計画的に行い、市民生活の基幹となるインフラが保てるよう努めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画に基づき、対策が必要となった施設について、施設の修繕等の設計を実施 ・設計に基づき修繕工事を実施（予定） | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・公園施設長寿命化計画に基づき、施設を改築・更新 ・かに座公園ほか14公園の遊具改築工事を実施 ・鹿児島ふれあいスポーツランドの園路改修工事を実施 ・公園施設のバリアフリー化を行うため、皇徳寺しいの木公園のトイレ等の建替え工事を実施 | | 都市公園安心安全対策推進事業 | |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|--|----------------------|------|
| <p>73 計画的なインフラ補修</p> <p>道路、橋りょう、トンネルなどインフラの補修に今後かかる費用の正確な試算を行うとともに、長寿命化などの対応を計画的に行い、市民生活の基幹となるインフラが保てるよう努めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した新システムを整備するための実施設計を実施 | 場外系監視制御設備整備事業 | ○ |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の長寿命化とライフサイクルコストの縮減・平準化を図るため、予防保全型の維持管理を徹底し、計画的な整備・更新を実施 | 桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・生産基盤施設や生活環境施設の総合的な整備の実施 | (再)土地改良事業(農業生産基盤の整備) | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・港湾施設の長寿命化計画更新を実施 ・長寿命化計画に基づき、対策が必要となった施設について、施設の修繕等の設計を実施 ・設計に基づき補修工事を実施(予定) | 港湾の施設維持費 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・磯海岸の保全のため、浜砂の補充を実施 | 磯海岸管理経費 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・準用河川磯川の河川断面不足となっている区間の改修工事を実施 ・準用河川五位野川の護岸の新設を実施 | 準用河川改修事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した梶原迫団地調整池の改良工事を実施 | 水路等新設改良事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・公園施設(橋梁)長寿命化計画に基づき、1号歩道橋(皇徳寺西公園)の補修に向けた詳細点検及び設計を実施 | 公園施設(橋梁)長寿命化事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・道路ストック(トンネル、横断歩道橋、門型標識、道路舗装)の長寿命化修繕計画、維持管理計画及び、定期点検(5年に1回)結果に基づき修繕を実施 ・4年3月末までに舗装維持管理計画を変更(予定) | 道路ストック修繕事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・橋りょう長寿命化修繕計画及び、定期点検(5年に1回)結果に基づき修繕を実施 | 橋りょう長寿命化事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・河頭排水処理場ほか3場の老朽化した機械電気設備の更新を実施 | 老朽施設等更新事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽水道管更新10か年計画に基づき、老朽化した配水管の布設替えを実施 ・次期水道管更新計画の策定 | 老朽水道管更新事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・谷山処理場の老朽化した沈砂池ゲート設備などの更新を実施 | 処理施設ストックマネジメント事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・南部処理場の老朽化した空気調和設備などの改良を実施 | 処理施設改良事業 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した污水管の改築を実施 | 污水管路施設ストックマネジメント事業 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した污水管の改築などを実施 | 污水管路施設改良事業 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した清滝川2号水路などの改築を実施 | 雨水施設ストックマネジメント事業 | | |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|--|---|------|
| 9 現在そして将来の課題に今から対応できる鹿児島をつくる。 | | | |
| <p><u>動物殺処分ゼロを目指します。</u></p> <p>74 殺処分ゼロの実現に向けて、飼い主への終生飼養の啓発など、まず収容数の減少に向けた取り組みを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ミルクボランティアへ幼齢猫を譲渡（登録ボランティア数：10件、譲渡数：65頭）（9月末現在） ・哺育資材の提供（提供数は譲渡数と同じ） ・犬猫の飼養者等に対する適正飼養の啓発（自然死を除く殺処分頭数：犬0頭、猫0頭）（9月末現在） ・地域猫活動等における不妊去勢手術費用の一部助成及び活動団体に対する補助（実施頭数：地域猫140頭、観光地猫125頭）（9月末現在） | <p>ミルクボランティア活動支援事業</p> <p>犬猫等の飼養者啓発事業</p> | ○ |
| <p><u>同性パートナーシップ</u></p> <p>75 速やかに同性パートナーシップ宣誓制度を導入するとともに、生活上必要な効果が得られるよう、市の制度改正に加え民間事業者等へも啓発や協力要請を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年1月に鹿児島市パートナーシップ宣誓制度を導入（予定） ・性の多様性理解促進パンフレット、ポスターを作成（3年7月末） | <p>パートナーシップ宣誓制度の導入</p> <p>性の多様性啓発支援事業</p> | ○ |
| <p><u>合併地域の均衡ある発展に向けた取り組み</u></p> <p>76 吉田・桜島・喜入・松元・郡山の各地域について、地域の発展に資する事業を行うため、各支所で使い道を決められる事業予算枠（地域振興事業・仮称）を創設します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と身近な行政機関である支所が、地域資源や特性など個性を生かした地域づくりに向けた効果的な方策を検討・実施し、地域の持続的な発展に寄与する取組を検討中 | <p>地域振興事業（仮称）</p> | △ |
| <p><u>様々な状況に合わせた、避難所の質の確保</u></p> <p>77 災害時の避難所について、高齢者や障害者、乳幼児等の要支援者やペット同行避難など、避難者それぞれの状況に合わせた質の確保・向上に取り組めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・物資の安全性確保を図るため、備蓄物資の数量点検や目視確認などを行ったほか、使用期限のある物資については入替を実施 ・避難所運営マニュアルを防災訓練や市政出前トーク等で周知 ・様々な状況に合わせた地域公民館の多用途性の充実を図るため、老朽化した施設の改修等を実施 | <p>防災資機材等備蓄事業</p> <p>災害救助に要する経費</p> <p>（再）地域公民館整備事業</p> | ○ |
| <p><u>学校のトイレ洋式化</u></p> <p>78 児童・生徒の利便性向上や避難所開設時の機能向上のため、市立学校のトイレ洋式化を推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進行しているトイレの改修工事を実施 ・市立学校の洋式化率 令和3年度末58.2%（予定） | <p>（再）学校トイレ洋式化事業</p> | ○ |
| <p><u>新たな総合体育館に関する連携・協力</u></p> <p>79 県が予定している新たな総合体育館については、県と緊密な連携をとりながら、都市計画・地区計画の改定や周辺道路の整備など、必要な環境整備・協力を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・現在、令和2年11月に県が設置した基本構想策定委員会において、3年度内の基本構想策定に向け、施設の機能や規模、構成等について検討が行われており、検討状況等について、県と情報共有を図っているところである。 | | △ |
| <p><u>地籍調査を強力に推進します。</u></p> <p>80 災害復旧・防止など必要な公共事業を円滑に実施する等のため、地籍調査を強力に推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・国土調査法に基づき、一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界の測量と面積の測定を行い、地籍図・地籍簿を作成 ・令和3年度は紫原団地を実施 ・令和3年度末の進捗率は49.2%（予定） | <p>地籍調査事業</p> | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|---|---|------|
| <p>81 <u>団地再生を推進します。</u></p> <p>高齢者の生活に必要な施設の誘導・整備や、若年層への住み替えの促進、地域交通の確保など、今後居住者の高齢化が予想される団地において、暮らしやすい環境を育てるよう、団地再生を推進します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・3年3月にかごしま団地みらい創造プランを策定し、3年4月から対象29団地の地域コミュニティ協議会等と意見交換会を実施 ・今後、新たな人材発掘や育成を図るための実践セミナーを実施し、希望する地域に対してワークショップの運営支援を実施（予定） ・令和4年度からの第二次鹿児島市公共交通ビジョン策定に向けた取組を実施 | <p>かごしま団地みらい創造プラン推進事業</p> <p>（再）公共交通ビジョン推進事業</p> | ○ |
| <p>82 <u>洪水ハザードマップの整備</u></p> <p>県とも連携し、洪水ハザードマップの整備を進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、土砂災害特別警戒区域等や避難情報のポイントなどを掲載した防災ガイドマップを作成し全戸配布を実施 ・新たに土砂災害特別警戒区域等が指定されたことなどを踏まえ、避難所周辺ハザードマップや河川ハザードマップ等の更新を実施 | <p>鹿児島市防災ガイドマップ作成・配布事業</p> <p>災害時避難行動力向上事業</p> | ○ |
| <p>83 <u>公文書管理条例を制定します。</u></p> <p>公文書管理条例を制定し、公文書の適正な管理を行うとともに、政策過程を後から検証できる仕組みを整備します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・3年7月から8月にパブリックコメントを実施 ・第4回定例会へ議案提出（予定） ・3年12月に条例公布、4年4月1日に施行（予定） | 公文書管理事業 | ○ |
| <p>84 <u>男女共同参画を推進します。</u></p> <p>女性職員の登用拡大に向けて、積極的な育成や相談体制など必要な環境の整備に取り組みます。また審議会等の女性委員比率も高める取り組みを行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」に基づき、取組の実施状況、数値目標の達成状況の点検、評価を実施 ・女性職員を対象とする研修や女性先輩職員の体験談の紹介を実施（予定） ・男女共同参画審議会の実施（3年7月・11月（予定）・4年2月（予定）） ・次期男女共同参画計画策定（4年3月）（予定） ・関係機関相談員研修会の開催（3年5月実施） ・DV防止対策委員会（3年6月・11月（予定）・4年2月（予定））及びDV防止庁内連絡会議（5月・4年1月（予定））の開催 ・デートDV講演会の実施 ・職業生活における女性の活躍を推進する施策についての助言・指導等を行う女性活躍アドバイザーを配置し、審議会での意見交換等を実施 ・男女共同参画センター運営委員会の開催（8月・2月（予定）） ・男女共同参画に関する講座・イベントの開催（通年） ・経営者・管理職の意識改革プログラムを実施（10月） ・働く女性のための応援プログラムを実施予定（11月） ・男女共同参画誌「すてっぷ」の発行（秋号：9月、春号：2月（予定）） | <p>女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画 職員研修事業</p> <p>男女共同参画計画推進事業</p> <p>DV対策基本計画推進事業</p> <p>女性活躍アドバイザー配置事業</p> <p>男女共同参画センター運営事業</p> <p>女性活躍推進事業</p> <p>男女共同参画情報誌の発行</p> | ○ |
| <p>85 <u>防災会議の機能をより高め、市民の生命と財産を守ります。</u></p> <p>火山防災、原子力防災を含め、想定される様々な災害に対応するため、防災会議に各分野の専門家を積極的に招聘します。また避難訓練等で得られた知見をたえず活用し、より市民の生命と財産を守ることのできる体制づくりを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本市の防災に関する重要事項を審議する防災会議の機能をより高めるため、委員に各分野の専門家を委嘱 ・大規模噴火時における市街地側の大量軽石火山灰対策の周知を図るためのリーフレットを作成し、市政出前トーク等にて周知 ・大規模噴火に備えるため、島外避難計画の修正内容を踏まえ桜島火山ハザードマップを改訂、配布（予定） ・火山防災トップシティの推進を図るため、火山防災アドバイザーによる助言に基づく取組を行うほか、火山防災に関する会議に参加 ・防災専門アドバイザーによる指定緊急避難場所見直しに係る図面確認・現地調査、啓発資料の内容確認、がけ地の現地確認等を実施 ・災害対応能力の向上を図り、災害応急対策が迅速・的確に行われるよう、各機関の役割の確認、連携強化など、桜島の大規模噴火に対する図上訓練を実施 ・地域防災計画に基づき、訓練や研修等を実施（予定） | <p>防災会議運営事業</p> <p>桜島大規模噴火対策事業</p> <p>火山防災トップシティ推進事業</p> <p>防災専門アドバイザー事業</p> <p>各対策部向け図上訓練実施事業</p> <p>原子力災害対策事業</p> | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|--|--|------|
| <p><u>土地区画整理事業の推進</u></p> <p>86 田上地区での実施に向けて検討を進めます。また現在進行中の事業を着実に進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・3年1月及び8月に、関係機関（県道管理者及び河川管理者など）との協議を実施 ・田上小学校周辺の土地区画整理事業に係る調査・検討を行っており、現在、地域の課題等の整理に取り組んでいる。 ・国・県の各種制度を積極的に活用することにより、優良な財源の確保に努め、事業の早期完了に向けて取り組んでいるところである。 ・3年10月 谷山第二地区土地区画整理事業の換地処分公告（予定） | <p>田上小学校周辺面的整備調査検討事業</p> <p>土地区画整理事業の推進</p> | ○ |
| <p><u>多文化共生社会の構築</u></p> <p>87 今後さらなる国際化が進み、外国人人材の活躍する新たな時代が到来します。多文化共生社会の構築に向けて取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・3年6月に市ホームページに自動翻訳を導入（英語、中国語（簡・繁）、韓国語、ベトナム語） ・国際交流アドバイザーを出前トーク等に派遣し、国際交流や多文化共生に関する講座を実施 ・国際交流センターを2年4月に供用開始し、異文化体験講座や日本語支援教室等の各種事業を実施 | <p>市ホームページ自動翻訳導入事業</p> <p>国際交流アドバイザー配置事業</p> <p>国際交流センター管理運営事業</p> | ○ |
| <p><u>投票率向上に取り組めます</u></p> <p>88 若年層向けの効果的なPRや、共通投票所、利用しやすい投票所の拡充などの環境整備を行うなど、投票率向上に向け取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・将来の有権者への主権者教育の一環として小学校11校へ出前授業を実施（3年10月以降も小・中・高校において8校実施予定） ・若い世代の政治や選挙への関心を高めることを目的とした「選挙コンシェルジュ鹿児島」のミーティングや「若者と政治や選挙を語る会」を実施 ・衆議院議員総選挙の臨時啓発（予定）並びに大学生・短大生・専門学校生への投票参加の呼びかけ（予定） | 投票率向上推進事業 | □ |
| <p>10 新しい時代。民間のチカラを活かし、“これから”の鹿児島市政をつくる。</p> | | | |
| <p><u>データに基づく政策立案（EBPM）を推進します</u></p> <p>89 今後急速に進む少子高齢化・人口減少・扶助費の増大に対応するには、データに基づき成果志向型の、根拠ある緻密な政策が求められます。市役所全体にEBPMの考えが浸透するよう取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・3年9月3日：EBPM研修会を開催 ・3年12月：市町村アカデミー研修を受講（予定） | EBPM研修事業 | ○ |
| <p><u>事業の見直しを進めます</u></p> <p>90 今後急速に進む少子高齢化・人口減少に根本的に対処するには、既存事業の見直し、効率化を常に行っていく必要があります。公平な見直しが進むよう、EBPM推進と合わせ取り組みます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本市の総合計画の効率的かつ計画的な推進に資するとともに、市民の視点に立った成果重視型の行財政運営を図るため、行政評価へのEBPM導入について試行的に実施 | (再) 行政評価推進事業 | ○ |
| <p><u>政策評価を充実させます。</u></p> <p>91 より広い分野の施策・事業を対象とした政策評価を行います。また内容についても「いくら使ったか」「何をしたか」ではなく「市民に対しどのような効果・成果があったか」という観点から充実を図ります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・本市の総合計画の効率的かつ計画的な推進に資するとともに、市民の視点に立った成果重視型の行財政運営を図るため、行政評価へのEBPM導入について試行的に実施 | 行政評価推進事業 | ○ |
| <p><u>公契約の適正化を進めます。</u></p> <p>92 市が発注を行う際には実際に仕事・作業に当たる方の賃金水準が確保されることに留意し、「官製ワーキングプア」が起こらないようにします。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・最低制限価格制度の実施 ・労働集約的業務受注業者の労働環境に係る調査票提出（契約時・履行完了時） ・建築物の清掃業務登録業者の労働保険料・社会保険料納付状況確認 | 公契約の適正化 | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|--|---|---|------|
| <p>民間との公平な競争環境</p> <p>93 外郭団体への随意契約をなるべく見直し、行う場合には理由を公開する仕組みにします。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・公募しない理由（特定指定とする理由）について、3年度以降、選定を行った施設から、市ホームページで順次公開（公開の時期は、議決後、指定書を交付した後とし、令和4年1月中旬頃を予定） | 指定管理者制度の効果的な運用 | ○ |
| <p>ふるさと納税を集める取り組みを進めます。</p> <p>94 各地の県人会、同窓会などにも協力をお願いし、鹿児島市出身者、学校出身者、在住経験者向けに積極的に働きかけを行うとともに、用途をより具体的に指定できるようにすることで、もっとふるさと納税を集める取り組みを進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナを見据えた首都圏におけるシティプロモーション関係事業の財源とするため、首都圏の市政関係者を中心に返礼品無しの寄附を募集 ・市立3高等学校（鹿児島玉龍・鹿児島商業・鹿児島女子）を対象に学校を指定した寄附募集を実施 ・学校毎の寄附金については、毎年度基金へ積立てを行い、各学校の特色ある取組の事業費に相当する寄附金額が集まった段階で事業を予算化し、その財源として寄附金を活用予定 ・ふるさと納税の推進を図るため、ポータルサイトでのPR等を行うとともに、寄附者へ本市の魅力ある特産品等をお礼品として送付 ・3年7月にお礼品のリニューアルを実施 ・首都圏における本市ゆかりの方や本市に関心のある方等のふるさと納税の納税者を増やすとともに、本市の魅力発信及び地域経済の活性化にもつなげるため、より効果的なPRを実施 | <p>あつまれ鹿児島ファンディング！鹿児島市ふるさと寄附金事業</p> <p>（再）母校応援ふるさと寄附金事業</p> <p>「愛して！！かごしま」ふるさと寄附金サポート事業</p> <p>「首都圏における「ふるさと納税」推進事業</p> | ○ |
| <p>ネーミングライツ等の積極的活用</p> <p>95 市立施設や公園、道路や橋などのインフラ等の適正な維持管理を図るため、施設の性質に合わせてネーミングライツやスポンサー制度を積極的に活用します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市有施設においてネーミングライツを活用（8施設で導入済み） ・ネーミングライツの新たな導入に向けて検討中 | ネーミングライツ導入事業 | ○ |
| <p>市政の情報公開を進めます。</p> <p>96 市政上の様々な施策・事業に関する情報や、市が保有する統計データ等をインターネット上で公開します。また公開期間も延長し、以前の情報も長く掲載する仕組みにします。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市政の情報公開を引き続き安定して行うために、市ホームページのデータを管理するWEBサーバーを増設 ・市ホームページのアクセシビリティ向上のため、既存の日本語版音声読み上げ機能に「貼付ファイルの読み上げ機能」を追加 ・市ホームページのアクセシビリティ向上のため、ホームページ作成のための前提知識、アクセシビリティ、システムの操作等について、動画を作成し市職員に対し教育・研修を実施 ・市ホームページにおける適切な公開期間の設定に関してマニュアルに明記し、市職員に周知 ・地図データを使って公共施設を防災等の情報をインターネット上で提供する「かごしまiマップ」を運用 ・オープンデータとして公開しているデータ項目数を拡充するとともに、市民のひろば等での周知広報を実施 令和3年9月末の公開データ数：76件 | <p>鹿児島市ホームページ運営事業</p> <p>統合型GIS運営事業</p> <p>オープンデータ推進事業</p> | ○ |
| <p>市民の声を聞く機会を増やします。</p> <p>97 市政の施策に関するアンケート調査「まちかどコメンテーター」をもっと積極的に活用し、調査回数・項目の増加など、市民の声を聞く機会を増やします。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・まちかどコメンテーターの数をおおむね200名から300名に増員 ・アンケート回数を3回(7テーマ)程度から6回(12テーマ)程度に増やし実施 ・3回実施済、年度中にあと3回実施予定 | まちかどコメンテーター事業 | ○ |

| マニフェストの項目 | 取組の概要 | 事業名 | 取組状況 |
|---|---|---|------|
| <p>98 <u>鹿児島市内全域で、市政報告会を開催します。</u></p> <p>市民の皆様には市政の動向をしっかりとご報告し、またご意見を伺い施策に反映させるべく、鹿児島市内全域で、校区単位のきめ細かな単位で、市政報告会を開催します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・市長と語る会をおおむね中学校区ごとに各地域で開催 ・これまでの開催実績は、郡山（3年6月）、谷山（7月）、和田（10月） <p>※年度中にあと4か所で開催予定</p> | 市長と語る会 | ○ |
| <p>99 <u>官民連携プラットフォーム</u></p> <p>鹿児島市の抱える課題のうち、民間の知見を活用した方が、市民により良いサービスを提供できることが想定できるものについて、常設の「官民連携プラットフォーム」（仮称）を設置し、広く民間の知見を募るしくみを作ります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・民間知見活用プラットフォームを設置 ・第1回会議（9/28）、第2回会議（10/29予定）、第3回会議（11月下旬予定） | 官民連携プラットフォーム（仮称）事業 | ○ |
| <p>100 <u>民間人材の積極的登用</u></p> <p>危機管理・防災担当や、デジタル化推進など、市役所の外部や民間の専門的な知見が特に必要とされる分野について、積極的に民間の専門人材の登用を進めます。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業等での職務経験者等を対象とした採用試験を実施（一般事務・土木） ・最終合格者数（一般事務）17名（土木）3名 ・新たな技術を施策に積極的に取り入れ、DXの取組を推進し、市民の利便性を向上させるとともに、行政運営の効率化を進めるため、市長をCIOとして位置づけるとともに、民間の専門的な知見の活用に向け、3年10月にCIO補佐官を民間から登用 ・防災専門アドバイザーによる指定緊急避難場所見直しに係る図面確認・現地調査、啓発資料の内容確認、がけ地の現地確認等を実施 ・火山防災トップシティの推進を図るため、火山防災アドバイザーによる助言に基づく取組を行うほか、火山防災に関する会議に参加 | <p>職員採用試験経費（社会人経験者採用）</p> <p>（再）行政デジタル化推進事業</p> <p>（再）防災専門アドバイザー事業</p> <p>（再）火山防災トップシティ推進事業</p> | ○ |